

I. 農機一般・施設

1. トラクター

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	千葉	1	56	2011	7	3	12	機械倉庫前	トレーをトラクターに連結しようとしていて、後から、合図なしで別の人がフォークリフトで後を持ち上げ、トレーの支柱を支えていた一輪車が倒れ、突然、手に全ての重みがかかり、落下、足を直撃。	コミュニケーション無しで相方の作業に介入し、思いがけない動きに、ついていけなかった。	・日頃の作業時に、コミュニケーション、声かけの習慣化 ・重量物を扱うときは、常に落下を前提とした対処、今回の場合は、落下した時に足とコンクリートの間に隙間が出来る用、木のころを入れるなど。	自分で近医受診、日曜でレントゲンも撮ってもらえず、湿布と添え木のみ、翌日骨折とのことで1ヵ月入院。	右足第1～3趾骨折、挫滅	入院
2	富山県	1	64	2011	6	12	16	農道	田に溝切り作業（5条田植機）中、同機がふかみにはまり、トラクタートレーラー（台車）をはずし、15メートルのワイヤで田植機を農道に引き上げた。その後トレーラを接続させようと2人で持ち上げ、1人が止金具（ピン）を差し組む最中、トレーラーの頭部が左足に落ちる。	トレーラーの連結部はかなりの重量がある。たまたま、落ちたトレーラーの下に突起物があり、その突起物が地面と連結部にわずかな空間を作り、完全な足への直撃を免れた。	トレーラーの連結部はかなりの重量があり、落ちる可能性を考えて、最初から台座など支えになるものをおくことが必要。安全靴の日常的な着用。	自分では大丈夫と思っていたが、裂けた長靴から血が滴り出していたので、仲間に病院へ連れて行ってもらった。	左足圧挫創 左足背部切創	通院
3	北海道	1	47	2010	6	3	10	農機置き場	コンクリート製のリヤウエイトをトラクタに取り付ける作業中、被害者の右足に落下した。	リヤウエイトは外れやすく安全性に欠けていた。被害者がトラクタとウエイトの間に入って作業していた。	必ず安全靴を履くように心がけている。ウエイトを付ける前に、必ずけん引棒をどかす。	作業を終えてから自分で車を運転して病院へ向かった。	右足第一指、第二指開放骨折	入院
4	三重	1	23	2011	11	14	14	倉庫	小麦の牽引式播種機をトラクターから外す際、播種機の支柱（7.8kg）が倒れ、足をピンポイントで直撃、拇趾骨折。	支柱を外すとき支えがない状態で作業した。踵のない長靴を履いていた。	重量物を扱うときは安全靴を履くことが重要。	病院に行きたかったが、木曜日の午後は休み。水で冷やした。翌日、受診。レントゲン写真を撮ったら親指にヒビが入っていた。固定した。1月中旬頃治癒。仕事は12月いっぱい休んだ。	左足第1趾骨折	通院
5	北海道	1	35	2002	6		17	農機洗い場	ロータリカルチを水洗いしていたときにロータリ刃を左足で押し回しながら洗おうと力を入れて踏みつけたところ、ロータリ刃が足の裏から刺さり、甲に突き抜けた。	底の薄い地下足袋を履いていた。ロータリ刃は先端が鋭いが、まさか突き抜けるとは思わなかった。	危険を認識した作業を心がける。農家仲間にも事故の顛末を話し、情報を共有している。	刃を引き抜き、止血した上で、家族に車で病院に連れて行ってもらった。	左足裏から足の甲の貫通切創	通院
6	栃木	1	54	2010	4	25	11	畑への入退路	トラクタで畑の耕うん作業を終えて狭い入退路を退出移動中、左側前輪が路肩を踏み外し、2.7m程下の畑にトラクタごと転落した。トラクターが覆い被さる用にして受傷。単独作業であったため、近所の人が通りかかり1時間後に発見。	通路が狭く、傾斜があった。事故トラクタは約25年前に義父が購入、使用していたもので、副変速が固定されていて3速になっている整備不良車であった。また、投票日で焦っていた。	事故後、通路を拡張した。農業は他の人に委託した。	近所の人が救急車を呼び、約10*。離れた所まで搬送され、そこからドクターヘリで大学病院へ収容され緊急手術を受けた。入院3か月、途中転院しリハビリを受ける。	骨盤粉碎骨折、内腸臍動脈断裂。後遺症（足のしびれ）	入院

1. トラクター

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
7	上越	1	79	2012	5	15	17	農道	畑の耕耘をするため20メートルの農道(傾斜度10~23度、幅130cm)登っている時に、トラクターがスリップをして8.7m下に転落、その後事故者が7メートル下に転落した。トラクターがスリップした時に下に転落すると思い、トラクターからおり山側の土手の草に掴まったが、草が切れて下に落下した。	小雨が降り農道が濡れていた。滑るのではないかと歩いて確認したが、大丈夫であると判断してトラクターで農道を登った。	年をとったら無理な作業をしない。なれたところほど危ないの注意する。慎重に作業に当たる。	携帯電話で自宅にいる妻に連絡する。事故者は舗装された農道まで50mほど移動して救急車を待つ。	頸椎骨折、肋骨骨折、指先にしびれ	入院
8	岩手県	1	61	2012	9	4	12	農道	フロントローダを付けたトラクタで地ならし作業中、農道方向へバックしたら溝に左前輪を取られて1回転し、仰向けになって動けなくなった。約1時間後、帰宅した妻が近所の人に電話で救出を依頼。ジャッキでトラクタの片側を上げたが外れてしまい、トラクタが左半身に落ちて、左鎖骨と左肋骨5本を骨折した。	農道にバックで斜めに入った。右側に法面があったので、真っ直ぐ上にバックすれば良かった。変速段バック2速で速度が早く、フロントローダを上げていて重心が高くなっていたことも影響して転覆したと思われる。	道路条件を確認して作業をしなければならぬ。トラクタの操作に問題があった。	救出困難とみて、妻が救急車を要請、約20分でパトカーとレスキューが一緒に到着した。ドクターヘリも要請し、高次救急センターに搬送された。	左鎖骨、左肋骨(5本)骨折	入院
9	長岡	1	72	2010	10	20	16	圃場から上がった農道の法面	ブロードキャストで珪カルを散布して隣の水田に移るために、一旦道路に出ようとした。昇降路をスピードの出すぎて、道路を飛び出し、向かいの圃場に本人は投げ出され、腹部をトラクターの後輪が轢いていった、内臓破裂。	圃場から出るとき、昇降路前で一旦停止せず、かつブレーキの連結ロックをしないとの基本が全く守られていない。スピードの出過ぎ、	圃場から出るとき、昇降路前で一旦停止し、ブレーキの連結ロックをする。また、フットアクセルを使える構造に改善する。	近くにいた仲間が救急車を呼んでくれた。10分で到着。手術はせず、集中治療室へ。3か月入院。その後リハビリ。	内臓破裂	入院
10	沖縄	1	25	2010	3	28	9	サトウキビ畑	アタッチメントに根切り用ディスクを取り付けた16馬力のトラクターで10°の傾斜のあるサトウキビ畑の収穫後の根切り作業中、トラクターがゆっくり横転。オペレーターは飛び降りて幸い怪我はなし。	根切りと同時に80kgの化成肥料を施肥できるタンクがあり、重心が高くなり不安定なため、少しの傾斜で横転したと考えられる。	補助金対象として急遽開発された機械で2年簡のみ使用。現在は使われていない。肥料などを積んだときの重心移動などの科学が必要である。	病院へは行かず	なし	なし
11	北海道	1	58	2008	6		14	畑	乗用トラクタにサブソイラを装着して芯土破碎作業を行っていた。雨上がりで枕地が滑りやすかったため、枕地で片ブレーキを踏みながら右旋回しようとしたところ、滑って曲がりきれずに圃場脇の側溝に転落した。	枕地が滑りやすい状態だった上に、側溝ぎりぎりの位置で旋回した。	安全キャブ付きトラクタだったため、運転者が車外に飛ばされず、負傷事故にならずに済んだ。	なし	なし	なし
12	栃木	1	63	2011	6	上旬	11	公道	トラクタで代掻きを終え、ドライブハローを広げたまま、家に戻るため公道を走行中、方向指示器を出して右折するため反対車線に入ったとき、後続車が追突してきた。	ドライブハローを折りたたまず公道を走った。他の仕事のことを考えていて忘れてしまった。右折時に後方確認をしなかった。右折指示器の合図を「追い越して行け」のサインと勘違いしたようだ。	事故後は後方確認をしている。	とくに医療機関にはかからなかった。	なし	なし

1. トラクター

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
13	滋賀県	1	44	2003	4	19	19	自宅近くの県道	春耕終了後、帰宅のためトラクター（後方2本の安全バー）で県道を走行中、時速70kmくらいで走行していた乗用車に追突された。トラクターはガードレールに乗り上げ、本人は前方に投げ出され、4m先の土手に激突した。	追突した乗用車運転手の前方不注意	よく目立つ低速走行中の表示灯をトラクターに装備する。	地元消防団の見回りの人が見つけ、救急車を呼んだ。本人は意識不明だった。	頭部打撲による硬膜外血腫	入院
14	栃木	2	65	2009	5	26	11	梨園	トラクタでの梨園の下草刈りを終えて移動中、作業機が防電ネットの紐に引っかかってトラクタがスリップして木に接近、運転していた被害者の上半身が直径10cm程の枝に挟まれた。ハンドルを握っていた両手の甲と胸部を擦り傷を負い、レバーで右肘を切創。	防電ネットの紐を束ねてぶら下げていた高さ（調査時の高さ123cm）が、フレールモープの刈り高さ調整ハンドルのノブの高さ（推定約120cm）とほぼ同じだった	事故後に車高が低い乗用ロータリモープを買ったので、それを使うようにしている。	近くにいた息子に救出された後、直ちに義理の娘に車で病院に連れて行ってもらった。幸い、ケガ自体は軽く、後遺症は残っていない。	首の圧迫、胸部擦り傷、右肘切傷、両手甲擦り傷、通院2～3週間	通院
15	広島	1	46	2010	5			水田	トラクターにロータリーを取りつけ、代掻き作業をしていた。雨が降っていたが作業をせざるをえなかった。トラクターを止めロータリーは回ったまま、整地板を開くため、トラクターから降りた。その後飛び乗ろうとしたとき、滑って転び、ロータリーの角でこめかみ下部を打撲した。ヘルメットを被っていたがその下を打った。	泥のついた田靴が滑った。	田の中でも滑りにくい靴の開発が望まれる。ヘルメットの着用。	流血もなかったため、特段の治療は行わなかった。	左こめかみ下部打撲	なし
16	北海道	1	38	2009	11		16	牛舎近傍	ホイールローダから前向き姿勢で降りようとしたところ、ステップから足が滑り、転落し右足首を骨折した。	前向き姿勢で降りてしまったため、ステップへの足のかかりが浅くなった。	以後、後ろ向き姿勢での降車を励行している。	妻に車で病院に連れて行ってもらい、別の病院を紹介され、そこで手術を受けた。	右足首骨折	入院
17	三重	1	56	2011	8	7	15	道路脇	大型トラクターを道路脇で洗浄中、トラクターのタイヤカバーから足を滑らせ転落。ロータリーの後輪を上下する部分の横腹を打ち付けた。	一人で作業をしていた。タイヤカバーはプラスチック製でフワフワして乗るのは危ない。	1m以上の作業では必ずヘルメットを着用する。洗浄することを考慮して安定した足場を用意する必要もある。	日曜日だったので、翌日自分で運転して受診。レントゲン写真でヒビが入っていた。気胸はなかった。コルセット装着。	肋骨骨折	通院
18	北海道	1	38	2011	6	4	7	農機庫の前	ブームスプレーヤをトラクタから外す連結ロックを解除するための紐がトラクタの後ろに落ちたので、運転席から拾おうと右手を伸ばしたとき、昇降レバーに左手の袖が引っかかりブームスプレーヤが上昇し、トラクタとブームスプレーヤの隙間に右腕が挟まれた。	連結ロック解除用の紐は、常に座席に結んでおくよう日頃から行っていたが、事故当時に限って外れていた。	事故後は、それまでの倍くらい時間をかけて慎重に脱着作業を励行していたが、昇降レバーのノブが外れており、袖口に引っかかりやすい状態になっていた。	すぐに父親が運転する車で病院へ向かい、手術を受けた。今もリハビリ中。握力が大幅に低下し、寒いとだるく傷む後遺症が残っている。	右前腕部の筋肉と靭帯の断裂	入院
19	富山県	1	63	2008	4	19	10	農道と圃場の境	オペレーターが荒起こし中、声を掛けてロータリーのバネを調整中、オペレーターとの連携が悪く、ロータリー部が突然上がり、指を切創。	オペレーターとの声かけが十分でなく、それぞれの思いで、ばらばらに作業、操作していた。	主作業のみならず、補助的に近づいて来る人などいたら、すぐに共同作業に入っているとの考えで、声かけの徹底。	近医にて止血、抗生剤をもらい、3日くらいガーゼ交換に通う。今も、切ったところは感覚がない	左環指末節部挫創	通院

2. 草刈機

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院
1	上越	1	62	2010	7	27	5	農道土手	排水路に面した農道の土手の草刈をしていたところ、農道の路肩を刈り取った草に右足を乗せたところ、足が滑り排水路に転落した。排水路には1m程度水があり、体を強く打つことがなかった。	土手は42度の急傾斜で170cm幅があり、足を踏ん張れなかった。	排水路には、深さ1mのU字官が入っているが、U字官と土手の間に足置き場があればよい	水があったため強く打つことなく、怪我をしなかった。水がもう少し多ければ溺れた	なし	
2	上越	1	63	2012	8	25	9	水田の畦	水田の草刈中に足を滑らし、6m下の川に転落した。記憶がはっきりしないが、1回転して足から落ちた模様。川には石がごろごろあり、つま先が石に当たったため指が脱臼したが、頭から落ちれば重症になったと思われる。	畦にはいのししの被害を防ぐため、電気柵が張られていた。足場が狭い上に畦と路肩の傾斜度が違ったため、足が滑った。	畦を広くする予定	近くに妻が草刈をしていたので、自力で川から這い上がった後は病院まで送ってもらう	右足の人差し指、中指、薬指の脱臼	通院
3	長野	1	58	2012	7	2		水田の土手	土手を刈り払い機で草刈り中、畦畔の土手に置いた左足を捻った。	右足を捻挫していたのでかばったために捻った。	畦畔の下に小段を設ける。スパイクの着いた靴を履き滑りを防ぐ。	近くの整形外科を受診	左足捻挫	通院
4	岩手県	1	84	2012	7	28	12	休耕地	自宅裏の休耕地で肩掛け式の草刈り機で草刈りをしていて、草が多くて水路が大きく深くなっているのに気がつかず、足を踏み外し、水路のところでのめりにひっくり返ってしまった。そのはずみで回転したままの刈り払い機の刃が左肩に当たり、出血した。	現場は2~3年草刈りをしておらず、草で水路状態が良く分からなかった。草刈り機は肩掛け式で、腰部の金具で本体を支持している。転んだはずみで金具が外れ、刃が肩に届いたものと思われる。	草刈り前の下見が大事。水田の法面などはよく滑るのでズック靴は避ける注意が必要。スロットルは固定式であった。レバー式の方が良い。	近くにいた妻を呼び、携帯電話で近所の整形外科医院に連絡。タオルで直接圧迫止血をして、妻を助手席に乗せ、自分が右手のみで軽トラックを運転して受診、21針縫合。	左鎖骨上部切傷	通院
5	北海道	1	57	2012	6	13	13	水田	背負式刈払機で水田畦畔の草刈り作業中、進入路付近の草を刈っていたとき、脇に土盛りがあり、そこに刈刃が当たった瞬間、キックバックを起こし、左足を切った。	キックバックの危険性を減らすための「右から左へ刈る」という作業方法を知らなかった。	事故後は、刈刃カバーを付けて作業している。	電話して救急車を呼んでもらい、町立病院へ搬送された。	左足小指関節粉砕骨折と切創	入院
6	長野	1	59	2010	6	30	8	水田土手	左足を上に土手の斜面を刈り払い機で刈り上げ草刈り中、左側上にあったコンクリート製の信号柱に刃が当たり、反動で左足を切った。	旅行のことが気になり、焦っていた。コンクリート製の柱に気づくのが遅かった。「もう少し」が危ない。	一度満タンにしてガソリンが終ったらその後は作業を続けないうことにした。事前に作業場所を点検する必要がある。	携帯電話で奥さん呼び、奥さんの運転で病院へ行った。医師に「傷はジグソーパズルのようだ」と言われた。	左足親指切創、右足捻挫	入院
7	北海道	1	70	2009	7		14	放牧地	放牧地の周囲に設置した電気柵の下草刈りを刈払機で行っていたが、刈払機を地面に下ろして、杭に巻き付いた蔓を取り除いていたところ、回転を続けていた刈刃で左膝の裏側を切った。	エンジンを止めずに刈払機を地面に下ろした。	作業を中断して刈払機を地面に下ろす時は、必ずエンジンを止めるようにしている。	すぐに車で病院に行き、縫合手術を受けた。現在は完治している。	左膝裏切創	入院
8	富山県	1	48	2010	7	6	14	畦	自走式草刈り機で、畦伝いに、別の圃場の畦草を刈ろうとしたが、途中にある溜め升が邪魔になりUターンしようとして、そのままずると排水溝に墜落、その際左手がハンドルの直撃を受けた。	自走式の草刈り機のUターンにはそれなりに場所がある。溜め升にぶつかってから無理にUターンしようとした。	それ以後は、一度戻って、別の場所から目的の畦に行くようにしている	落ちた草刈り機を息子と引き上げた後、奥さんに病院へ連れて行ってもらい、縫合してもらった。	左前腕切創	通院

2. 草刈機

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
9	上越	1	69	2011	7	16	9	水田の畦	水田の草刈中、排水路面から下畦に曲がるときに足が滑り機械と一緒に4m下の排水路に転落した。排水路の土手は傾斜度40度で幅3メートル、その下に深さ1mのU字管となっている	90度の曲がり角を一端停止せずに曲がった。足の位置は大曲がりするため、畦を踏み外した。	曲がり角は一端停止して方向を変えてから前に進む	足が骨折していたため立ち上がることが出来ず、排水路から畦、さらに道路まで100mの畦をハイハイしてトラックまでたどり着くに1時間かかった。通院2ヵ月	左足かかと骨折	通院
10	千葉	2	50	2002	10	10	午前中	畦	初めてトラクターにリンクモーターを取付、約5分間練習後、畦草かりの現場に向かった。石がバンバン飛んだ。後から来た同僚の人に、扱い方の見本を見せてもらうため、トラクターを交替し、約10m離れた所で見ていた。そこへこぶし大の石がモーターにはじき飛ばされ、腹部直撃	・モーターの石が飛んだ際のブロックの方法が甘い、かつ、ブロックするスカート部分が壊れていた	・モーターから石が飛ばないようにする部分の構造の改善の余地あり ・石の飛び方について、メーカーでの試験結果の公表と使用者に対する距離の保ち方のガイドラインの提示が必要	自分で車で病院へ、腹部と思っていたが、腹部に手を当てておりその指が運転中にバンバンに腫れてきた。固定して1ヵ月。治療後特にリハビリ無く、現在、親指が曲がらなくなっている	左第1指骨折	入通院

3. コンバイン

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	兵庫県	1	43	2011	10	4	13	圃場	水稻の収穫の際、初めて中古コンバインを使用した。何度も草やわらが詰まるので、取り除きながらの作業となった。エンジンの回転が重くなった時、エンジンを止めて点検した。カッター部にわらが詰まっていたので取り除いた。再びエンジンをかけて動きはじめたら空転していたので、慌てて今度はエンジンを切らずに取り除こうとした。カッター部に指を巻き込まれた。	無償で譲りうけた20年以上経った古い機械の調子が悪かった。事前に試運転なしで機械の確認がたりなかった。	メーカーの人に相談して、次のコンバインを買った。詰まったわらや草の除去作業は必ずエンジンを止める。	携帯電話で家に電話した。その間通りかかった近所の人が救急車を手配した。	親指第1関節断裂(接合できた)人指指第1関節断裂	入院
2	長野	1	85	2012	10	18	9	水田	ハーベスタで収穫作業中、排出口のパイプが詰まり、ゴミを素手で取り除いたところ、指を開放骨折した。	稲が十分に乾いていなかったため、詰まりやすかった。蓋を開けるときにエンジンを止めなかった。機械に不慣れ。蓋の裏にあったマグネットがなかった。	稲の乾燥方法の検討。ゴミの詰まったときは必ずエンジンを切る。	娘が近医に連れて行ってくれたが、簡単な処置をし、転院した。	左手中指開放骨折	入院
3	岩手県	1	63	2010	10	12	10	水田	農業生産法人事務所近くの水田で、自脱型コンバインによる稲刈り作業をしていた。4隅を手刈りして畦畔に置いていたイネをまとめて抱え上げて脱穀部に入れた。脱穀部が手が引き込まれ、搬送チェーンに左手が上向きにかまれた状態で、搬送チェーン端で手を抜いた。この間約5秒であった。	抱えた稲の量が多かったこと。長く柔いイネ(アキマフ)だったこと。コンバインの車高を上げていたこと等が脱穀部が手が引き込まれた原因である。2人組作業だったが、コンバインのオペレーターは、携帯電話に対応中だった。	非常停止ボタンがあれば良かった。組合でも安全指導はあったが、他人事と思っていた。以後は、無理しないで、1カ所は1日で行うようにしている。	掌側にゴム付軍手を付けていた。挙上して直接圧迫止血。コンバインのオペレーターに軽トラに乗せられて、20分ほどで最寄りの病院へ搬送され、応急処置後、救急車で高次救急センターへ搬送された。	左手関節部骨複雑骨折、手根骨開放骨折、左手掌上部挫滅創	入院

3. コンバイン

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
4	島根	1	63	2004	9	8	17	水田	水田中の作業が終わり、水田と道路の間にコンバインを置き、手刈りをしてあった稲を束にせずそのまま入れたところ、左手首がフィードチェーンに巻き込まれた。こぎ胴の中で手が叩かれるのが分かった。搬送チェーンとカッター部分のチェーンの間で手を抜いた。もう少しで終わるといふときの事故。	いつもはしない厚手の3Lのゴム手袋（指の先端部が2cmぶかぶか）がチェーンに巻き込まれた。もう少しでという気持ちの緩みもあった。	緊急停止ボタンはついていなかった。手にびったりフィットした手袋をする。手こぎの場合は入れる方向に注意する。横から送るのではなく、前の方から押し込む姿勢ですると巻き込まれにくい。	側にいた人が救急車を呼んでくれた。手術は3時間かかった。2か月入院、その後3週間リハビリに通った。10年後の今も左手の指は努力してもくっつかない。	左手首挫減創入院2か月	入院
5	広島	2	60	2003	9			水田	コンバインで脱穀時の事故。左手で稲束を持ち、右手でフィードチェーンに右から左へと送っている際、ゴム手袋の裾が手繰り寄せられるように巻き込まれた。慌てず、フィードチェーンの動きに沿って歩き、隙間から手を抜くようにして引いた。奥までは入っていなかった。	作業時に着用していた手袋の裾が絞られていないため、フィードチェーンに巻き込まれた。コンバインは4条刈りで、さほど大型ではなかったが、身長150cmの女性には無理な体勢になった。	事故後は手にフィットするウレタンの手袋を着用している。高齢者がコンバインの周りについて歩くことがあるが、危険なので注意したい。	事故後すぐに、一緒に働いていた人に病院へ連れて行ってもらった。後遺症なし。	右手中指・薬指複雑骨折	通院
6	長野	1	62	2012	11	3	17	水田	ハーベスタで脱穀作業中、稲束を送るチェーン部分に右手が巻き込まれた。	一人で脱穀作業をしており、左手で取る作業に集中し、チェーン部に送る右手を見ていなかった。	機械の構造改善として、チェーン部を6cmぐらいカバーで被う必要がある。	痛かったが病院には行かず、自分で治療した。3か月かかった。	右手3, 4, 5指切創	なし
7	上越	1	64	2012	9	18	11	県道	県道から水田の乗り入れ口に入る時、水田を通り越したのでバックで入ろうとした。この時路肩を踏み外してコンバインが横転した。横転する時、オペレーターは4m下の水田に投げ飛ばされた。	バックの時左側をよく確認しなかった。バックで傾いたので慌てて前進、さらに傾いたのでバックをしたとき横転した。エンジンをふかして前進、後進をしていた。	やわらかい圃場のときはバックではいることがあるが、バックを禁止した。乗り入れ口では補助者が誘導する	事故者が気がついた時は自分で動けた。同僚が直ぐに声をかけ、怪我の状況を確認して、念のために同僚の運転で怪我から2時間後に医院で診療を受ける。	右膝捻挫、左胸打撲、頸椎軽いむち打ち症	通院
8	兵庫	1	64	2012	10	14	14	圃場	水稲の収穫の際、コンバインを巡回後進したが、4mある法面から転落した。幸いオペレーターは放り出され軽傷ですんだ。	・作業が遅れきみで気があせていた。	安全確認の徹底	奥さんに連絡して病院へ乗せてもらった。左腕打撲と擦過傷	左手打撲・擦り傷	通院
9	富山	1	40	2012	9	下旬	午前中	畦	稲刈り中、クレーンクに靱がある程度たまった時点で、畦を乗り越えて道と水田の間を渡ろうとした。本人は、「ひょっとして倒れるかもしれない」と思っか、運転席には乗らず降りて操作していて、案の定横転した。K社の3条刈りか	横転が当然予測されながら、無理に圃場から圃場に渡ろうとした、またタンクの靱が重心を高くし、横転しやすくなったと思われる。	重心の位置をわかりやすくできるモニターができないのか。	本人は横転を予測していたので、横転時逃げて、無事	なし	—

4. 耕耘機

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	茨城	1	69	2012	8	4	12:50	畑	リタイア後に、畑を借りて自家菜園を耕耘機で耕している、バックしようとして、後の鉄製の杭に腰をとられ、転倒、そこへ、バックしてきた耕耘機が乗ってきて、両脚を巻き込まれ、刃が左脚の大腿部に突き刺さって止まった。	典型的な耕耘機のバック時の巻き込まれであり、本人の不注意のみで済まされず、機械的にバック時にロータリーが止まる構造にすべき。	耕耘機では、通常バック耕耘は必要が無い、ということは、ギアがバックに入ったら必然的にロータリーが回転しない構造に変えるべき。	近くにいた家人が異変に気づき、救急車を要請、かつ刃が刺さっていたのでレスキューも一緒に来た。油圧カッターで刃を切断、切断した刃を大腿に着けたまま、ドクターヘリで搬送	両大腿部開放骨折	入院
2	沖縄	1	58	2011	3	16	10	マンゴーハウス内	ハウス内でマンゴーの樹間の除草のため車軸耕耘機を使用した。補植用の鉢が通路に置かれており、それを避けようとしてハウスの支柱にぶつかった。慌ててバックにギアを入れると耕耘機が持ち上がり、車軸の刃が長靴に食い込み、左大腿骨まで粉碎骨折した。切断。	耕耘機の典型的なバック時の事故である。耕耘機が持ち上がった。車軸の場合はとくにロータリーの刃が近くにあり危険。	クラッチから手を離すと止まるトリガー式の機械が増えているが、咄嗟の時に離すのは難しい。逆に握ると止まる形式を考える必要があるのではないかと。	奥さんが救急車を呼び、同時にドクターヘリも手配された。隣で働いていた人に足を鎌で切ってもらった。ドクターヘリの医師が同乗して救急車で病院搬送。	左足大腿部から切断、右足後十字靭帯断裂 入院80日間	入院
3	広島	1	46	2012				ハウス内	ハウス内で耕耘機を使用しているときの事故。バック作業中にハウスと機械に挟まれた。以前にも3回同じ事故にあったが、本人は体が細く、挟まれても幸い抜け出すことは出来た。	耕耘機で作業中、バックに入れたとき、ハンドルが持ち上がり、体が挟まれる。	耕耘機はとにかくバック注意である。機体を持ち上げ、手前に牙を剥いた危険物が襲って来る。	とくに医療機関には行かなかった。	なし	なし
4	三重	2	58	2007	12	1	11	ハウス内	ビニールハウス内で、耕耘機で業中、ハウスの角でバックした時、耕耘機とハウスのパイプの間に右手甲を挟まれる。クロスジョイントの高さは1.1m、身長は150cm。	バックしたとき、耕耘機が持ち上がり、ビニールハウスのパイプに手が挟まった。	耕耘機はとくにバック注意である。ハンドルが持ち上がることを認識しておく必要がある。	家にいたご主人に保険証を持ってきてもらい、畑から病院へ行った。手が真っ黒だった。痛み止めを2週間分処方された。	右手掌部 圧迫、打撲	通院
5	長野	1	73	2007	4	7	12	畑の通路	通路が3°の傾斜があったため、クラッチを入れたら動き出したので、バックギアが入っていると勘違いし、思いっきり手前に引いたら、ニュートラルだったため、管理機ごと転落した。	通路が3°の傾斜があったため、クラッチを入れたら動き出したので、バックギアが入っていると勘違いした。	「指さし確認」をする。ギアがバックに入ったら警告音がなるなどの工夫が必要。	翌日(日)自分で運転して病院を受診、火曜日に整形外科受診、コルセット処方。	第2腰椎骨折	通院
6	島根	1	63	2006	7	24	16	大豆畑	大豆の苗間を除草するために、新しく購入した管理機を初めて使用した。硬い土に管理機がダッシングを起こした。慌てて前進しないようにクラッチレバーとハンドルを強く握りしめたとき、足が滑ってロータリーに右足が巻き込まれた。刃が大腿部に食い込んだ。	硬い土でダッシングを起こす危険はあった。初めて使用する機械で慣れていなかった。	咄嗟の時にはレバーを離せない。逆に強く握りしめる反応を起こす。トリガー式の構造を再考する必要がある。	救急車を呼んだ。レスキューの方も来てロータリーの刃を抜いた。刃は大腿部の骨を回り込むように食い込みもう少しで反対側に突き出そうだった。	右下腿刃の貫通創 入院6か月	入院

5. 田植機

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	兵庫県	1	58	2010	6	12	15	圃場	田植えの際、1条分の欠株があった。植え付け部分の一部にゴミが詰まっていることに気付いたので運転手に止まるよう伝えた。田植機が止まったのでゴミの除去をしようと手を入れた時、田植機が動き出したので爪に指を巻き込まれた。	通常ならエンジンを切って除去するが、雨も降って終了しようとしていた時でもあり、気が焦っていた。運転手に聞こえなかった。	必ずエンジンを切ってから、除去作業をすることを徹底した。共同作業の時はお互いの意思疎通をよく確認する。	一緒に作業していた仲間の1人が消防隊員で救急車の手配をし、応急処置も行った。救急車が20～30分できたが、日曜日で病院が見つからず連絡してから搬送先到着まで1時間はかかった。	右手中指第1関節断裂	入院
2	兵庫県	1	76	2002	5	30	9	道路	トラックに積んだ田植機に乗り、荷台からかけたあゆみを伝ってバックで降りるす際、片方のあゆみがずれた拍子に両方のあゆみがはずれた。運転手は慌てて飛び降り倒れた。その後エンジンのかかったままの田植機に轢かれた。	鉄製のあゆみの引っ掛け部分が少なくずれやすくなっていた。	フックのついたあゆみに取替え、トラックの荷台にも引っ掛け部分を取り付けた。	携帯電話をもっていて、救急車の手配も自分で行き、その後家族にも電話した。	左大腿骨骨折	入院
3	上越	1	56	2012	10	22	17	水田	3人1組で田植作業を行っていた。圃場の最後の一周のまくら地を植えた時に1列が残ったのでバックをした。このときにマーカ―が道路標識に引っ掛かり、マーカ―を外しに入った補助者がボールから外れたマーカ―に顔面を打たれた。	バックの時マーカ―を内側に収納していなかった。道路標識のボールが水田側に曲がっているのを気がつかなかった。	マーカ―は簡単に閉じることが出来るので、バックの時はマーカ―を閉じることが義務付けした。	タオルを顔面に巻き止血をした。事故現場から200mほどに事故者の自宅があったので、奥さんに連絡をとり奥さんの車で病院に行った。	眉間の上を6針縫合	通院

6. 運搬車

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	広島	2	71	2012	10	21	9	自宅の傾斜した道	運搬車に堆肥を乗せ、斜度9～19°面をバックで登ろうとしたが、滑って上がらないので、運転者に加えて二人が加勢した。登り右側について引っ張り上げようとしたとき、足を滑らせ、運搬車に足を踏まれた。同時に横にあったのがった石に左大腿上部を強打した。	事故発生時は朝露で草も濡れ滑りやすかった。また、地下足袋も滑る要因になった。運搬車の駆動ベルトとタイヤも摩耗していた。	滑りにくい靴を履く。道の整備、ベルト・タイヤの交換も必要。	事故日は土曜日であり、当番医は隣の市の病院だったが、かかりつけ医に電話をしたらOKということで義理の娘が運転して受診。血液サラサラ薬服用。皮膚は黒ずんだまま。	両脚内出血、左大腿上部打撲	通院
2	広島	1	28	1993	7	23	8	水田の水路添いの脇道	牧草を乗せて畦道を運搬車で走行中、タイヤが滑り、運搬車もろとも水路に転落した。本人は先に落下し、その後運搬車が体の上に落ちてきた。エンジンはとまり、水路に水が少なかったため、バランスを崩した。また、荷台側を前方に運転していたため最悪の状態は免れた。腰椎圧迫骨折	事故前日に雨が降り地面がぬかるんでいた。牧草を増し枠以上に乗せて積載量を超えていたため、バランスを崩した。また、荷台側を前方に運転していたため視界も悪かった。	出来るだけ二人以上で作業をするようにしている。また、行き先を家族に告げていくようになった。笛も持参するようになった。	事故発生から20分で何とか自宅に辿り着き、家族が救急車を呼んだ。1か月半入院。退院後、コンパイン作業でヘルニア発症。	腰椎圧迫骨折2カ所、右前腕・右足強打	入院

6. 運搬車

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
3	福島県	1	64	2012	2	20	9:15	柿畑	除染を始めてから3カ月目。積雪の残る山間の柿の木畑へ除染用の水を運搬車で運んでいる途中で、スリップし、あわててクラッチレバーを操作したところ、右肩の腱が断裂した。	十分に体が慣れないうちに、急に体を動かしたことで腱が断裂した。	・作業前は準備体操などで体をほぐす。 ・傾斜のきつい場所での除染に延長ホースを優先的に配置する。	受傷の翌日病院に行ったが、手術の日程調整が遅れ14日間自宅待機をしていた。	右肩の腱断裂	入院
4	富山県	2	71	2010	12	2	18	農道	白菜と大根の収穫作業中、畑より小型運搬車を移動させるにあたり、下じき・死亡、本人死亡のため状況がよく分からないが、発見時は完全に運搬車の下に入り込み、運搬車側の体やの軸がのど元を圧迫した状態であった。	畑から、道にバックして出そうと、運転席から降りて、クラッチ操作をしていて、何らかの原因でバックしすぎようとしたので、力で踏ん張って止めようとして足が滑り、下に潜り込み、その上に運搬車が乗った状態となったのではないかと。	運転席以外からのクラッチ操作をできなくするか、あるいは、もしするとしても、体の姿勢が不自然でないような操作性が必要ではないか。	発見時には、すでに亡くなっていた。	急性循環不全 頸部圧迫（窒息）	死亡
5	茨城県	1	90	2011	7	3	午後	栗畑	栗畑でトレーラー走行中、栗の切り株にぶつかったので降りて方向転換をしようとして、バックしたのか、足が車軸に巻き込まれた。通りかかった人に発見された。 栗畑の草丈が高く園地の道がよく分からなかったらしく、切り株も草に隠れていたらしい。	本人は大丈夫と思っていたかも知れないが、家人は高齢なので機械の操作をやめるよう言っていたが、やめなかった。 草丈が高く、園地の道がよくわからなかった。	高齢者が、従来やっていた作業から、軽作業に、本人も納得していかに移行させるか、本人に身体能力の衰えを自覚させるテストの開発が必要。	通りかかった人が、23m先の栗畑で、トレーラーが止まっているのを不審に思って発見、救急車で搬送。	左脚開放骨折 右大腿部・下腿部打撲等	入院
6	岩手県	1	70	2012	10	27	15	畜舎	トレーラに稲藁を積んで耕耘機で畜舎に運び、藁を降ろしているときに、右足を乗せたトレーラーの後ろの「あおり」が突然はずれたため、左肩からコンクリートの床に落ちて、左肩を脱臼した。作業は3人で行っていた	トレーラー後部の「あおり」は、2本のピン（丸棒）で穴に止まる方式で、落ちた方のピンは長さが8cmで、右側のピンより2cm短く、外れやすい。堆肥等を運搬するときは「あおり」が邪魔になるので、外しやすくなっている。	「あおり」が落ちないよう、両サイドにチェーンがついているが、このチェーンも当日は外れてしまった。	救急車を要請、約30分で来たが、搬出に30分くらいかかった。日赤病院へ運ばれたが、当日は麻酔医がいないので、一晩入院し、翌日整復してもらい夕方には戻った。	左肩関節脱臼	入院

7. 車・重機関係

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	32	2007	8	27	15	牛舎近傍	ダンプカーの荷台後面にアオリを取り付けるため、ホイールローダで吊ってアオリの横について移動していたところ、上下に揺れた拍子にアオリと地面の間に足を挟まれた。	現場はコンクリート舗装で平坦であり、ホイールローダもゆっくりと移動していたため、吊ったアオリが上下に揺れることが予測できなかった。	安全靴を履くようにした。	救急車で病院に搬送してもらい、手術を受けたが、術後に組織が壊死したため、その後、皮膚移植等の手術を2回受けた。	左足甲の血管破裂および壊死	入院
2	富山県	1	83	2011	7	27	9	農道	追肥散布中の補助で肥料を摘んだ軽トラをバックした時、アクセルとブレーキを間違えて踏み込み、隣の豆畑に突っ込む	認知症が始まっており、車の運転が無理になりつつあり、それ以前にも時々、車を落としたりぶつかったりしていた	免許を諦めさせた。	特になし	なし	—

7. 車・重機関係

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
3	長岡	2	58	2007	5	上旬	11	田植えをしている圃場の農道	田植機を乗せるために、台車を用意しようとして、後ろ向きに引いてきたところ、苗を積んでいるトラックがバックしてきたので、その間に挟まれ、腸間膜出血。	相方がいつもと違い、仕事のリズムがあわなかった。少しでも早く仕事を進めようと焦っていた。相方とコミュニケーションを取らずに台車を引き、また相手方も合図をせずに車をバックさせた。	相方が替わる場合、いつもと当然要領が異なるので、作業手順の簡単な打合せを必ずする事が必要と考えられる。	ご主人が携帯電話で救急車を要請。目標、山川のポンプ場で了解。迷ったらしいが、手を振って合図、5分後には到着。ICUに入ることもなく、普通病棟で入院1週間。	腸間膜出血	入院
4	滋賀県	1	45	2003	7	11	12	堆肥舎	客土として山土（堆肥よりかなり重い）を圃場に入れるため、堆肥舎で小型ホイールローダー（フロントガラス無）を使って、軽トラックに積み込む際に、通常と同じような量をすくい、また、積もうとした方向に下り勾配（3°）であったため、ホイールローダーが前に転倒した。転倒しかけたとき、前から飛び降りて、そのときに額を座席の前の上方の鉄棒にぶつけて裂傷を負った。	通常の堆肥より重い土を同じような量をすくったこと、および積もうとした方向に下り勾配（3°）となるように軽トラックを停めたこと。	ホイールローダーに過積載の警報装置や自動停止装置を装備させる。	近くにいた妻が気付いて、妻の運転で近くの病院に行き、受療（事故から約1時間後）。	4cmの裂傷で9針の縫合。	通院
5	兵庫県	1	79	1986	1	10	10	山林	しいたけ原木を採種するため、山道をつけようと小型バックホウに乗っていた。運転席が狭いのでつい足を機外に放り出したままであった。走行部のクローラーと台車の間に足をはさまれた。	つい油断して、足を外に放り出してしまった。	古い機械を使用していたので、コベルコ製に更新する。	通りかかった知人に息子を呼ぶようお願いし、その後迎えにきてもらい病院へ行った。	右足甲骨折	入院
6	島根	1	63	1996	4	9	8	水田の間の通路	水田の整備終了後、翌日バックホウを2トラックに積んで運搬しようとして、鉄の角材で自分でつくった栈橋を登ろうとした。キヤタビラが少しずれただけで、修正しようとアームを伸ばし地面から上がったとき、バックホウが滑り落ち、機械もろとも横の川に転落した。その際、両足首が挟まれ引きちぎられた。両足首切断。	バックホウを車に乗せ移動することは初めてであった。乗せるための栈橋も自分で作成したため、規格に則ったものではなく、機械がずれないように工夫もなかった。	バックホウそのものの使用説明はあっても、トラックに乗せるときの注意点などについて研修できる機会が少ない。検討が必要である。	救急車を呼んだ。救出まで3時間かかった。現在は義足をして、日常的な作業をしている。	両足首切断 入院10か月	入院

8. 切るもの

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	上越	1	63	2012	11	11	9	竹林	チェンソーで竹の伐採作業で下から上に切り上げた時にチェンソーの刃が土手に当たり、その反動でチェンソーが体の方にキックバックして刃が左ひざに当たる。	竹を切る時は通常上から下に向かって切るが、このときは反対の向きでやったため刃が土手に当たった。チェンソーが重く馬力があつたため、勢いあまって土手に当たった。	怪我したことを反省して、チェンソーの作業資格をとる。竹を切る時は小さなチェンソーで専用の刃を使うべき。	事故後同僚から診療所に軽トラックで送ってもらい診療を受け、施術が必要であるので、病院に転医した。	膝蓋腱部損傷、膝切創	入院
2	長野	1	30	2011	10	18	11	畜舎	ワラ切りカッターのVベルトに軍手の先が巻き込まれた。	Vベルトがむき出しになっていた。新しい軍手の先がびったり入っていない。	もともとVベルトにはカバーがあつたが、いつも詰まるので取り外している。詰まりのできない工夫。びったりくんの軍手使用。	家族（看護師）が応急処置をしてくれ、救急車で病院へ搬送。	左環指関節脱臼・左小指切斷	入院

9. 機械整備

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	2	19	2012	3	10	10	整備庫	エンジン分解組立の実習中、エンジン下部のボルトを締め付けているとき、工具が外れたため、勢い余ってエンジン上部にアゴをぶつけた。	不自然な姿勢でボルトを締め付けていた。	力を入れる方向や作業姿勢に気をつけるとともに、台の上に載せて作業することが望ましい。	車で病院へ連れて行ってもらった。	アゴ打撲と切創	通院
2	宮崎	1	57	2011	6	7	17	自宅近くの作業ハウス	台車を自分で作成しているとき、溶接部の毛羽をグラインダーで取っていて受傷	毛羽を取ろうと安易にグラインダーを片手で持ち作業した。	グラインダーは片手では持ちにくい。簡単な作業をするときには持ちやすいよう構造の改善が必要。	近くにいた息子が止血、奥さんが病院へ送ってくれた。3か所縫った。今でもしびれ感がある。	右上腕挫傷	通院

10. 施設内

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	上越	1	59	2011	9	26	6	作業場	乾燥機から格納タンクに米を移す時にほこりが出るので、換気扇をまわす。換気扇をまわすには窓を開ける必要があるが、窓を開けるときに足を滑らし、5m下の格納タンクに底に落下した。	窓を開けるには、鉄骨に掴まわって動いていたが、足場になっていた鉄骨がほこりがあったので足が滑り落下した。	高いところには上がらないでよいように紐でコントロールできるようにした。落下した場所は踏み場を設置した。	携帯電話で家に電話をして救急車とレスキュー隊を呼んでもらう。	左足かかと複雑骨折、腰の圧迫骨折	入院
2	千葉	1	57	2008	8	20	頃	乾燥施設	乾燥施設の籾送りの螺旋の具合をチェックしようと、モーターを回したまま、籾のルートの中に手を入れ右手を螺旋に巻き込まれた。	螺旋部が駆動しているのが分かっていたながら手を入れた。手を入れた所は暗く、手探り状態で手を入れた。	・多くの機械で「うろ」になった部分は暗く、センサー付のライトの設置が望まれる。 ・その後、螺旋のものからつまみにくい、ベルトコンベアに変えた。	レスキューに螺旋本体をカットしてもらい、全体を庭に降ろしてから、さらに金属部分をカットしてもらい、手を取りだしてもらおう。その後縫合し、自分でガーゼ交換。	右手第2指、剥離創	通院

10. 施設内

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
3	上越	1	55	2008	9	11	16	作業所	乾燥機から籾タンクに籾を移すのに縦搬送機を使っているが、搬送機に籾が詰まり、籾をかきだした後にモーターを回し、詰まりが無くなったことを確認した後、縦搬送機のカバーを閉める時に指を巻き込まれた。	縦搬送機に籾が詰まるときは年に3回程度あり、その処理には慣れていない。いつもモーターを止めてカバーを閉めていたがこのときはモーターを止めなかった。	カバーを開け閉めする時は確実にモーターを止める。籾を搬送する量を少なくして詰まることの無いようにした。	出血が激しかったので、手首に包帯を巻き、指先を輪ゴムで止血して自分が運転する車で医院に行った。医院ではこの止血方法では指が腐ってしまうと叱られた。	左手薬指切創	通院
4	上越	1	62	2010	10	25	10	作業場	籾すり機を作業場の隅に移動しようとしていた時に籾すり機の角に足を当てて、親指と人差し指の間を切る。履物はサンダルであった。	籾摺り機のどこにぶつかったのか覚えていない。大型の籾摺り機で角が角ばっているため怪我をした。	作業が慎重になった	事故処理は、傷絆創膏を貼る。翌日になって腫れたので自分で運転する車で、病院に行く	左足親指と人差し指の間の切創、傷口から菌が入り蜂窩織炎	入院
5	岩手県	1	39	2008	10	30	11	JA選果場内	2階で選別梱包されて1階に下ろされ、ベルトコンベアで運ばれてきたリング箱を、終点近くで木製のパレットに移動する作業を行っていた際、ベルトコンベアを駆動しているチェーンとスプロケットとの間に右IV指を挟まれた。軍手ごとすぐに手を引いたが、右IV指の側面に裂傷を負った。	本人は事務系職員なので、選果場の作業は初めてであり、不安があった。早く等級や種別を見極めて、運びたいという心理から、立ち位置を、ローラーより前にしていた。	この後、事務職が現場に出ることとはしなくなった。	事務室にて応急処置をし、昼休みに整形外科医院に行った。傷は深くなかったが、爪に近いので3針縫合した。当日の午後からは事務業務に変更し、夕方まで勤務した。	右第IV指裂傷	通院
6	富山県	1	71	2010	1	13	8:20	納屋	納屋で副業として行っていたビニールひもの切断中、前日入り込んだ雪が溶けていて足を滑らせ、足元にあった縄につまずき転倒	雪国では、雪が施設内に入るこゝと事があり、朝方には氷っておて、転倒する危険がある。照明が100ルクス以下と暗い。	早朝の寒い朝には、室外のみならず、室内も凍っている可能性があり確認が必要、また照明ももっと明るくする。	家に自分で戻り奥さんに病院に連れて行ってもらったが、忙しく、午後まで放置される。2日後に手術。	左大腿骨頸部内側骨折	入院

Ⅱ. 果樹・工芸作物・ハウス栽培

11. 果樹

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
果樹①	長野	1	79	2011	6	4	10	桃畑	高所作業車に乗って桃の摘果作業をしていた。作業台上昇アクセルのところに摘果した桃が挟まり急に上昇し、作業台のパイプと枝に手が挟まり受傷した。し、トラクタとブームスプレーヤの隙間に右腕が挟まれた。	上昇アクセルの間に摘果した桃が挟まった。驚いて焦って挟まった手を抜いた。	アクセル部分にものが入らない工夫が必要。パイプの形状をU字形にし手が挟まれない工夫。焦らない。	奥さんの車で近医を訪れたが、総合病院に転送された。	左手甲捻挫	通院
果樹②	長野	1	76	2012	4	12	16	ブルーン畑	ブルーン畑で化学肥料を背負い式散布器で散布中、肥料が少なくなってきたときにバランスを崩し、尻もちをついて、橈骨茎状突起骨折を起こした。	畑にあった段ボールが邪魔になり、蹴飛ばそうとしてバランスを崩した。肥料を入れる袋の構造が悪い。	散布器の袋の構造を工夫する必要がある。事前に畑に邪魔物が無いか点検する。	転倒したとき右手甲が腫れ上がった。奥さん（看護師）が応急処置。すぐに奥さんが運転し病院へ。翌日手術。	右橈骨茎状突起骨折	入院・通

12. 工芸作物

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	42	2010	10		15	畑	ビート収穫中に大きな石がロータリコンベアで詰まった。底板が押されて生じた隙間に手を入れて、石をはじき飛ばしたところ、手を挟まれてしまった。	当該ビートハーベスタは作業者が手を入れる可能性がある隙間が生じる構造であり、注意喚起も不十分だった。	当該機は20年間使用してきた古い小型機であり、近年の大型機では詰まって停止するようなことはほとんどないとのこと。	妻が父親を携帯で呼んで、工具で分解し、解放してもらった。特に治療は受けなかった。	右手打撲	なし
2	北海道	1	39	2012	3	8	13	作業場	ビート播種機のカバーを開けて動かしながら調整・清掃したところ、歯車が右袖口が巻き込まれた。すぐに電源スイッチを切ったが、離れた場所にいた共同作業者が驚いて駆け寄り、勘違いして、スイッチを入れてしまい、さらに巻き込まれた。	カバーを開けたらスイッチを入れても機械は動かない、あるいは機械が動いている間はカバーを開けることができない、といった対策が取られていなかった。	機械の取扱者を熟知したものに限定するとともに、清掃と機械調整を同時に行わないように徹底している。	近所の診療所では処置できないとのことで、少し離れた大きな病院に車で向かい、5針縫合する施術を受けた。	右前腕部（5針縫合）	通院
3	北海道	1	58	2007				畑	トラックに積んだ肥料分配機の供給ホースを、播種機の鎮圧輪に片足を乗せながら抱えて肥料を補給していたところ、足が滑って転倒し、横付けしていたトラックの側面に左胸を打ち付けた。	日没間近で焦っており、滑りやすい部分に足を乗せてしまった。どこかに足を乗せなければ作業しにくい、ステップはなかった。	足を乗せる場所を考えながら作業する。	作業を中断し、自分で車を運転して病院へ向かった。	左肋骨骨折（2箇所）	通院
4	北海道	1	46	2010	11	12	13	農機洗い場	トラクタのPTOを回しながらビートタッパの駆動チェーンに注油していたときに、知り合いが話しかけてきた拍子に、革手袋をしていた左手の薬指から人差し指までの3本の第一関節部分が巻き込まれた。	チェーンとスプロケットにカバーが設けられていなかった。	事故以降、動くものには近寄らないことにした。機械整備は業者に依頼するようになった。ビートの作付けを止め、当該機械も売ってしまった。	すぐに救急車で病院へ向かい、手術を受けた。関節がないので指先を曲げられない上に触感や熱感もなく、握力も低下した。	左手第2指、第3指、第4指の第一関節切断	通院

12. 工芸作物

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
5	沖繩	1	46	2002	2	中旬	午前中	サトウキビ畑	サトウキビの収穫機＝ハーベスタで刈り取り作業中、バックしたとき後ろが見えず、段差1m下の道路に横倒しになるように転落。飛び出さなかったが、座席の右横にあった金属パイプに腰部を強く打った。	後ろが見えないので、誘導が必要であった。たまたまペアを組んでいたオペレータが予備の袋を持ちに行き不在のときに起こった。	狭い畑に7mもある機械が入るといふミスマッチ。畑は左右・上下に傾斜があり、横転しやすい状況にあった。整地が必要な圃場。	相手方のオペレータが病院へ搬送。救急扱いで診療、レントゲン撮影。とくに打撲以外は異常なし。1回の受診のみ。	右腰部打撲	通院
6	千葉	1	18	2004	3	20頃	午前中	たばこ畑	たばこ移植機で苗を移植中、移植機が取り残した苗を、もったいないので取り除こうとして、次の苗をつかみに来た爪に手を突き抜かれた。	本来はクラッチを切って行うべき作業であるが、移植のスピードは遅く、取り除くのに十分間に合うと思い、手を入れた。あな意味、暇な時ほどしなくてもいいこと、または確実にやるべき事を手抜きをする。機械とのスピードと人間の作業スピードとのミスマッチ。	・機械を更新してからは、移植機の苗の取り残しはなくなり、このような作業自体がなくなった。	爪は、自動的に抜けた。父親に病院に連れて行ってもらった。幸い骨や神経を傷つけておらず、消毒程度で終わった。	右手第1指と第2指の間刺創（貫通創）	通院
7	宮崎	1	65	2012	6	7	11	自宅茶加工場	茶の粗揉機のヘラが折れたので、機械に手を入れて探していたら、フォークに指が引っかかり裂傷した。	機械が老朽化したこともあるが、機械を止めずにヘラを探し手が引けなかった。	機械を止めて探す。茶の価格低迷を改善しないと機械の更新なども難しい。	作業が忙しく休めなかったもので、テーピングしていたが、腫ってきたので、事故後3日目に自車で病院へ行き6針縫った。	第1, 2指の間裂傷	通院

13. ハウス栽培

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	滋賀県	1	72	2007	9	30	8	所有のビニールハウス	ハウスのビニール張り替え時、ビニール越しにハウスの骨格に手足をかけて登った。従前のビニールよりも厚く、手足が十分にハウス骨格に載せることができなかったため、2メートル強の高さから転落した。ハウス傍のコンクリートのU字溝の上端に後頭部左側を強打した。	脚立を使わず、ハウスに登ったこと。	高さ3m以上もあるハウス上で60kgくらいのビニールの張替えを素人が行うべきではない。	一緒に作業していた息子の携帯電話で救急車を呼び、近くの総合病院に運ばれた。	頭蓋骨陥没骨折、脳挫傷、頸椎損傷で左半身麻痺	入院
2	福岡	1	68	2012	10	22	17:00	イチゴハウス	イチゴハウスのビニールを張っていて6棟のうち、夕方最後の棟目を期や脚立に乗って張っていて、バランスを崩して転落、その際、倒れた脚立に足を取られ右足膝を骨折。	最初の頃は、転落の恐れがあるど、かなり気をつけていた。足場も確認しながら行っていたが、最後の頃は、「もう少しで終わる」との思いで、十分に脚立の固定など、安全姿勢の確保を十分しなかった。	危険は、「常在する」、最初でも最後でも、脚立の安定の確保が必要。	当日は、痛みがあったが我慢した。夜間より痛みがひどく、翌日受診。膝が骨折との事で1ヶ月間入院	右脛骨高原骨折	入院
3	栃木	1	47	2010	10	5	14	イチゴハウス	イチゴのハウスのビニール張り替え作業中、古いビニールを勢いよく引く張ったところ、留めていたホチキスの針が右眼に飛び込んで刺さった。一緒に作業していた妻に目を見もらったところ、ホチキスの針が角膜に刺さっていた。	ビニールを一気に引きはがしたため、ホチキスの針が勢いよく飛んできた。作業スケジュールがかち合い、焦りながら作業を行っていた。	現在は、眼鏡の上からかけられる防護ゴーグルを着用している。コンバインでの稲刈り作業でも、埃や夾雑物が飛んでくることのあるため、防護ゴーグルを着用している。	救急車を呼んで病院に搬送してもらった。レントゲン撮影を経て、摘出手術を行った。この事故を境に眼鏡をかけるようになった。	右眼角膜損傷、入院5日、通院1週間	入院

Ⅲ. 用具・手具

14. はしご

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	57	2012	2	9	11	牛舎	牛舎入口のシャッターケースの雪の重さで凹んでシャッターが開かなくなったので、はしごをかけてスコップで除雪していたとき、体勢を崩して2.4mの高さから入口脇に転落した。	はしごの上で右方向に身を乗り出しすぎた。少々焦りがあり、こまめなはしごの移動を怠ってしまった。	他の人に頼もうと思っている。	車で病院に連れて行ってもらった。	頭部打撲、左膝粉砕骨折	入院
2	茨城	1	71	2012	3	20	頃	庭	隣家のモチノキをチェーンソーで剪定しようとして、3.9mのはしごをかけ、7段目(高さ2m)から落下。頭を打った。	・木には葉の付いた枝が付いており、十分にはしごが木に立ってかけてはなく、ふわふわ状態、かつ下部の固定が悪かった。また、不安定な状態でのチェーンソーの使用。	木とはしごを最初にロープなどで固定、下部の固定を確実に、ヘルメットの着用 ・ノコギリ等の使用	落下時に頭部を打つ、チェーンソーの音が聞こえなく鳴ったのに家人が築き、外に出て落下確認、救急車を呼ぶ。	くも膜下出血	入院
3	長野	1	76	2012	2	18	14	倉庫	倉庫の2階から保温シートを降ろそうとして、はしごから落ちた。	近くの建設業者が作ってくれたはしごは固定式だったが、邪魔なので可動式にして滑った。前向きに降りた。	下のコンクリートとの接地面を安定出来るように設計する。後ろ向きに降りる。2階部分にヒモで滑り止めを作っている。	妻が救急車を呼んでくれた。待ち時間5分。5分で病院到着。	第1, 4腰椎圧迫骨折	入院
4	三重	1	82	2011	12	29	16	自宅農舎	農舎の2階にあるビニールを取りにアルミ製の梯子を登った。途中、中段付近で梯子がズレて梯子とともにコンクリートの地面に前のめりで滑り落ちた。気がつけば落下した梯子の上にチョコンと座っていた。激痛で動けなかった。	梯子は普段より寝た状態で、地面との接触部分がぐらついていて梯子の先端部が2階に僅かしか掛かっていなかった。暗かった。年末で忙しかった。	梯子の先端部に引っかかりをつけ、角度を保ち滑らない工夫が必要。感知式LEDライトをつけ、明るい環境をつくる。	近くにいた奥さんと一緒に、嫁の運転で病院へ行った。手術の必要はなかったが、30日間の入院、退院後30日間のリハビリ通院となった。	脇軟骨骨折、左骨盤骨折	入院

15. 脚立

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	岩手県	2	72	2011	9	6	17	自宅敷地内	両手持ちの剪定バサミで、傾斜のある舗装道路に隣接した自宅敷地内の「ドウダン」を剪定(刈り込み)していた。脚立の上から2番目の段に両足をかけて徒長枝を切ろうと剪定バサミを持った両腕を伸ばしたところ、脚立が道路方向へ倒れ、自分も一緒に舗装道路に投げ出されて、背骨と腰を強打した。	脚立の足は緩い傾斜面に設置され、道路側に対しては若干ぐらつく感じであった。道路側に落ちたということは、奥の枝を切ろうと思いき、道路側に少し体重をかけたのではないかと思われる。	脚立は、段の無い方向には倒れやすいことを知って、留意して作業を行うこと。	人に見られると恥ずかしいので、脚立等を持って自宅に戻った。翌日は朝から痛みが出たが、翌々日になり、痛みが引かないので、電話で友人に頼んで車で整形外科医院に連れて行ってもらった。	腰椎圧迫骨折	通院
2	岩手県	1	52	2012	9	29	11:30	自宅作業小屋内	作業小屋内に蛍光灯を設置しようと、天井の梁伝いに配線していた。三脚に片足をかけて、もう片足を壁際においてある台の上にかけてたところ、この台が倒れて、足を踏み外し、身体が横になった台の中に入った。このとき、箱状になった台の縁に尻を打ちつけた。	右足を置いた台の足の長さが、台上部の天板の寸法よりも短かったため、天板の端の方に足をかけると、容易に台が転倒してしまう状態であった。	台の状況を確認しておくべきだった。同じ場所にいた両親に台を押さえてもらえばよかった。脚立を動かせばよかったが、面倒だった。	受傷後1分程立ち上がれなかった。その後、自分で家に入った。翌日は寝ていた。翌々日、自分で車を運転して農協に出勤。午後整形外科医院を受診した。	仙骨棘突起亀裂骨折	通院

15. 脚立

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
3	上越	1	53	2011	11	23	10	畑	脚立に登って柿の実を採っていたときに枝が浮きあがり手を離したので足が脚立から外れて3.8m下に落下した。落下する時に手が危ないと思い、腕を組み右方向にひねったところ、右後頭部が地面にたたきつけられた。	枝を引寄せた時に反動で枝が浮き上がり、足が外れた。貴重な晴れの日だったのでいろいろなことをやろうとして急いでいた。	高い所は危険、安全確認をす。はしごは足場をしっかりと確認する。年を取ったので無理をしない。	家族が近くにいたので、直ぐに救急車を呼ぶ。始めの診療では大した事ないと診察されたが、もう一度診察を頼み頸椎骨折がわかった。	頸椎3本骨折、動脈1本損傷、右足すねきり傷	入院
4	長野	2	74	2011	9	18	8	ブルー畑	自宅近くのブルー畑で収穫中、左手に持ったかごがブルーで重くなり偏ったためバランスを崩し、脚立から転落左足を受傷した。	脚立の一番上に登って作業した。地面が不安定だった。	脚立を設置するとき、しっかりと力を入れて安定させる。脚立の一番上には登らない。	日曜日で嫁と一緒に作業していたので車で病院へ連れて行ってもらった。翌日も祝日だったので、翌々日再度固定した。	右腓骨骨折	通院
5	福島県	1	68	2011	12	7	0:3	桃畑	桃の木の除染初日、三脚から降りようとしたら三脚の左足が地面にめり込み、作業者が落下。腰椎を圧迫骨折した。	平坦地に立てた三脚が安定しているか確認を怠った。	三脚の安定を必ず確認する、声掛けの徹底、三脚の上り下りは梯子を持って行く。	仲間が携帯電話で救急車を呼び、最終的に病院に搬送されるまで約10～20分かかった。	第5腰椎圧迫骨折	入院
6	福島県	1	63	2011	12	10	10:30	柿畑	除染作業3日目、柿の木の除染をしようとして、三脚の上から水圧で弾き飛ばされて落下。地面にあった障害物に背中を強打し脊椎を圧迫骨折した。	2人1組で行うべき作業を一人で実施。高圧ホースが暴れたか、水圧で後ろに押されたかして、三脚から弾き飛ばされた。	・絶対に一人で作業しない。 ・機器の取扱ルールを守る。 ・徐々に水圧が上がるような仕組みにする。	仲間が携帯電話で救急車を呼んだが、自分は気を失っていたので詳細は分からない。	第7・8脊椎圧迫骨折	入院

16. 鎌

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	長岡	2	63	2012	9	7	9	水田	コンバインで刈り取った後、倒れた稲があったので、コンバインが再度バックして踏まれてしまう前に稲刈り鎌で刈ろうとして、小指切創	コンバインがバックするまでに急いで刈ろうとした。稲を刈る方向も刃を下向きではなく、上向きに刈っており、刃が小指に当たった。	稲刈り中、左小指を違和感なく守る手袋などが開発されてもいいと思われる。	自分で家に帰り、車に乗って近医受診、5～8針縫った。翌日も通院、計9回、10月1日まで通院。6日目に抜糸、再度化膿止めをもらう。現在も、手が当たると痛む。	左小指切創	通院
2	長野	2	78	2012	6	24	9	畑	春菊を収穫し、立ち上がってその根を切ろうと右手に持った鎌を振り下ろしたとき、手元が狂い左手の人差し指を切った。	娘が来るようになっており、気もそぞろだった。主人からも畑を耕したいので早く収穫するよといふこと言われ焦っていた。いつもする手袋をしていなかった。	手袋を必ずする。最近「びつたりくん」にしている。根切りは鉋などでおこなう。他のことを考えながらの作業はしない。	ご主人に運転してもらい病院へ。日曜日だったので止血の応急処置。翌日外科で縫った。	左手人差し指切創	通院

IV. 畜産関係

17. 畜産関係機械・施設

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	43	2011	4	27	14	作業場	ミキサフィーダ内部の攪拌リールのボルトの一部が緩んでいたため、ミキサフィーダに登り、攪拌オーガを伝ったところ、足を滑らせて転倒し、攪拌オーガの切断刃で左足を負傷した。	当該ミキサフィーダには、使用者に内部の攪拌リールのボルト緩みを安全に修理させるための処置が何ら施されていない。	時折、ボルトの緩み等が生じるので、機械の上で作業せざるを得ないが、滑りやすい部分には足を乗せないように気をつけている。	左脚を縛って止血処置をして、妻に車で病院に連れて行ってもらった。	左脛部切創	通院
2	北海道	1	37	2012	7	8	12	牛舎脇	垂直軸式のミキサフィーダの中に入って切断刃を取り付け直していたところ、足元付近にあった別の切断刃で左脛を切った。	頭部周辺に位置する切断刃に集中し、足元の切断刃への注意が薄かった。	以後は販売店に依頼することになっている。	妻の運転で病院へ向かい、縫合施術を受けた。	左脛切創	通院
3	北海道	1	40	2008	12		9	堆肥舎	パークリーナが動かなくなったため、ミッションケースを点検しよじ登ったら、強風に煽られた。転落する寸前にとっさにスクレーパを掴んだため、手に切創を負った。	高所に位置するミッションケースを点検するための足場等の処置が一切執られていなかった。	シェアボルトの交換作業を行うときは、落ちないように気をつけるしかない。	すぐに車で病院に行き、縫合施術を受けた。	左手のひら切創	通院
4	北海道	1	55	2009	1		5	パークリーナ	パークリーナが凍結して止まったため、ミッションケースを点検したところ、突然Vベルトが動き出して左手がVベルトとモータ側プーリーに巻き込まれた。	点検するときに、スイッチを切っていなかった。	ミッションケースの点検作業は、予めスイッチを切ることで、組み作業でスイッチの入り切りを行うようにした。	自分で運転して病院に行き、手術を受けた。	左手親指切断	入院
5	北海道	1	57	2012	8	21	10	牧草地	レーキをトラクタでけん引して、砂利道から採草地へ斜めに進入したところ、レーキのタイヤが溝を通るときにレーキが左右に大きく振れて転倒し、つられてトラクタが左側へ横転した。	道路に砂利を追加して均したため、溝との高低差が大きくなっていて斜めに進入した。	検討中	車で病院に連れて行ってもらった。	特になし	—
6	岩手県	1	80	2012	8	1	10	牧草地	キャビン付き50PSのトラクタにレーキを装着して、採草中、傾斜の終わるぎりぎりの谷側を後部レーキの様子を見ながら20m程度走行していた。少し山側にハンドルを切るべきところを、後ろに気を取られて直進してしまった。採草地の端部の崖からトラクタもろとも転落し、栗の木にトラクタが引っかかって停止した。	76歳で大特と牽引の免許を取った。何度か視力の検査をされた。「注意力不足、油断していた」と言うが、平成21年にもトラクタで転倒しており、2回ともキャビンのおかげで、車体の外に身体を投げ出されずにすんだ。	レーキ等の作業機の調整は、草地の上で行うことと、トラクタが落下した崖のところには、ボールを立てるか、植林したい。	ドアが開かなかったため、コーナーガラスの扉を開けて上方に脱出した。携帯電話は転倒時にキャビンの下へ落ちて拾えなかった。歩いて牛舎に戻り、自宅へ電話して、奥さんと連絡を取った。	無し	無し
7	岩手県	1	70	2012	9	9	8	牧草地	小型トラクタに単連モアを付けて傾斜牧草地で刈取り中、段差のある場所で右後輪を石に乗上げ、横滑りしてトラクタ・作業機もろとも270度回転して身体が投げ出された。気付いたらトラクタは右後輪を上にして斜面上で停止し、自分は後輪近くで斜面方向に向かい右足は伸ばして、左足は立て膝状態で座っていた。	この傾斜草地は、20数年借用している土地で、石がこの場所にあるのは分かっていた。いつものように、もう少し大回りすれば、事故にはならなかったと思っている。	ヘルメットは付けるべきだと思った。	トラクタを、事故当事者本人と隣の親子（2分以内に駆けつけた）で90度斜面方向に倒し、普通の状態に戻した。自宅にいた運転して病院を受診した。	右脛骨幹部骨折、骨盤（寛骨）不完全骨折（2カ所）	入院

17. 畜産関係機械・施設

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
8	北海道	1	43	2011	10	8	11	ビニールハウス内	トラクタのエンジンをアイドリングにしてマニュアルブレーダを動かしたまま、荷台に載ってスコップで土を掻き落としていたとき、被害者の尻がビーターに接触、引っかかって後方に投げ飛ばされ培土の上に落下し、ビーターで左脚頸部を繰り返し傷つけた。	昼食直前で空腹状態であり、早く作業を終わらせようと気が急いでいた。機械を動かしながら清掃作業を行ってしまった。危険認識が甘かった。	事故以降、機械の清掃作業は必ず動力を止めて行うようにし、当該機械の清掃作業は父親に頼んでやってもらっている。	携帯電話で父親に連絡して救急車を呼んでもらい、病院で手術を受けた。今でも、一日に2〜3回くらいピリッとした痛みが走る後遺症が残っている。	左脛部切傷及び骨にヒビ	入院
9	北海道	1	39	2008	9	20	13	採草地	傾斜草地で堆肥散布作業中、下り斜面でけん引していたマニュアルブレーダに押されてブレーキが利かず、ジャックナイフ現象が生じて転倒した。	傾斜度が15〜35°と急激に増している箇所、前日の降雨で草が滑りやすい状態だった。	・傾斜が緩い部分だけで作業している。 ・マニュアルブレーダにブレーキが必要である。	特になし	特になし	なし
10	宮崎	1	75	2012	4	日不明・土曜日	17	畜舎近く	夕方、給餌のためロールを運び、ロールのラップを外して体を起こしたとき、運搬に使っていたロールグラブの角に頭をぶつけた。頭をぶつけたとき一瞬気を失った。頭から血が吹き出していた。傷口は11.5cm	ロールグラブが十分に上がっておらず、頭をぶつけた。	畜産関係の仕事には、いつも高さの問題がつきまとう。自分なりのハザードマップの作成が必要。ヘルメットの着用も必須。	奥さんに電話をして病院を探した。5時過ぎだがすぐ来るようにいわれた。なぜ救急車を使わないかと叱られた。	頭部打撲・裂傷	通院
11	宮崎	1	62	2011	3	10	5	畜舎前の庭	新しく設置した足洗い場につまずき、3.9m先にあったホロントローダーのポケット部分の角に頭・肩をぶつけた。	奥さんが1週間前に怪我をし焦っていた。夜明け前で薄暗かったため、新しく設置したコンクリートに気づかなかった。	牛への影響も考慮しなければいけないが、薄暗い場所には感知式LEDライトの設置も必要。ヘルメットの着用。	救急車を呼んだ。頭を20針縫った。肩がいたく上がらないので翌日も受診、MRIをとった。軽いむち打ち症と診断。	頭部挫傷	通院

18. 牛の事故

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	44	1998	5		7	牛舎近傍	逃げた牛を戻すため、モクシをかけ、トラクタで後進しながら引いたらモクシが勢いよく外れ、ナスカンがトラクタのフロントガラスを破った。	モクシは鼻先方向に強い力で引き過ぎると外れてしまう。また、ナイロンロープは伸びる。	乳牛が逃げないように電気柵を張って誘導するようにした。	自分で車を運転して隣の病院へ行った。	左眼角膜損傷	入院
2	北海道	1	55	2012	9	25	10	牛舎	牛舎内で転んで動けない牛を起立させるため、梁にロープをかけ、荷締め器で牛を持ち上げる作業中、荷締め器のハンドルが勢いよく顔に当たった。	チェーンブロックではなく、重量物の吊り上げ機能を持たない荷締め器を使ってしまった。	チェーンブロックを使う必要があった。	作業を続けていたが、自分で運転して病院へ行き、縫合手術を受けた。	下唇左側裂傷および歯3本折損	通院
3	北海道	1	50	2012	5	5	13	牛舎	起立困難の牛を起こすため、牛の周囲に枠場を設置し、脚立に乗って上部にチェーンブロックをつり下げる梁を載せようとしたところ、転落して後頭部を打った。	・補助者なしの一人作業では無理があった。 ・脚立を跨ぐ姿勢で作業しており転倒しやすい方向に力が加わった。	複数による組み作業を行う必要があった。	2日後、自分で車を運転して病院へ行った。	後頭部打撲および頸椎圧迫	通院

18. 牛の事故

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
4	三重	1	58	2011	6	3	5	トラック荷台	牛の出荷作業中、トラックの荷台へ牛を繋ぎとめようとしたところ、突然牛が暴れ出し、牛と荷台のサイドパネルに挟まれ左肩強打し、左鎖骨遠位端骨折と診断され手術を受ける。労災保険には加入していた。	牛の出荷作業の危険性は普段から認識していたものの作業効率を優先していたための油断。	人手を増やすことと、手間はかかるが牛のロープの繋ぎ方を工夫する。	一緒に作業をしていた奥さんの車で病院へ行った。	左鎖骨遠位端骨折	入院
5	宮崎	1	71	2012	4	12	14	牛舎	出荷のため、嫌がる子牛を洗おうと、牛舎から引きだそうとして、急に反転され、本人に体当たり突き倒された。奥さんも倒された。	暗い牛舎から突然明るい外に出そうとして驚かせてしまった。	牛舎の普段の明るさをつくることも重要。	近所の人に携帯で電話をし来てもらった。救急車を呼んでくれた。すぐに診療、1週間後に手術、人工骨を入れた。	脊髄損傷	入院
6	北海道	1	36	2011	8	4	19	牛舎	牛床の敷きわらを直す作業をしているときに、背後にいた牛がぶつかってきたために前によろけ、手に持っていたフォークで右足の甲を刺した。	気ぜわしい作業の様子が牛を不安にさせ、人を排除しようとする行動に結びつけた可能性が考えられる。	特になし	作業をやり終えた後、患部からよく血を出して、洗った。夜遅くなったので翌日病院に行った。	右足の甲の刺傷	通院
7	北海道	2	45	2012	5	16	18	牛舎	対頭式牛舎内の中央通路で、乾草をフォークで飼槽に配っていた作業中に、牛が被害者の左脇を頭突きした。	群れの中での序列を決めるために挑戦してくる行動によるものと考えられる。	なるべくこの牛には近づかないようにし、近づかなければならないときは、絶えず目を離さないように気をつけて作業している。	しばらく立てないほど痛みが酷いので夫の車で病院へ向かった。	左肋骨のヒビ	通院
8	北海道	1	42	2012	5	25	9	牛舎	初産の臆病な牛の最初の搾乳を行うとき、暴れないように頭にモクシをかけていた。被害者がモクシを掴もうとしたときに、急に牛が頭を振り上げ、手がタイヤレールとの間に挟まれた。	ナーバスで突発的な動作を行うとき、可能性の高い牛を扱う作業であったが、意識せずに牛の頭とタイヤレールの間に手を入れてしまった。	その牛は現在は搾乳にも馴れ、おとなしくなった。	消毒し、絆創膏を貼って応急処置を施し、作業を終わらせた後(1時間後)、病院へ行った。	右手第4指裂傷	通院
9	北海道	1	42	2012	5	26	14	牛舎	放牧地に乳牛を放すため、スタンションを外そうとしたがロープが絡まってロックがなかなか外れなかった。そのとき、牛が頭を振り上げて被害者の左胸に当たった。	放牧を開始した時期であり、牛が喜んで興奮していた。	牛が興奮しているような場合は、落ち着くのを待ってから作業するようにした。	発生は金曜日であり、作業が終わったのが遅かったため、月曜日に病院へ行った。	左肋骨2本骨折	通院
10	宮崎	1	75	2012	4	日不明・土曜日	夕方	畜舎	目の不自由な牛に給餌をしようと、一輪車でビートを運んでいるとき、その牛が頭を振ったため吹き飛ばされた。その際、近くにあったロールベアラーの金属の角に右肩が当たった。	目の不自由な牛は匂いや音に敏感。牛の近くから入るのは危険であった。	現在は牛の真正面から給餌をするようにしている。ヘルメットの着用も重要。	土曜日だったので、我慢をし、月曜日になって自分で運転して受診。4か月後の今も肩が痛くて上がらない。	右肩打撲	通院
11	北海道	1	59	2012	9	29	7	パドック	パドックのゲートの支持柱がぐらついていたので修理しようとしたところ、自分に向かって柱が倒れてきたので逃げようとしたが、背後に仔牛が身体を寄せていたので逃げられずに頭部を打った。	柱が倒れる可能性の高い方向から接近してしまった。	ヘルメット着用の習慣を広める必要がある。	脳神経外科に妻に車で連れて行ってもらい、4針の縫合手術を受けた。	後頂部裂傷	通院
12	北海道	1	78	2011	6		18	牛舎	牧草を入れた一輪車を押しながら、給餌作業を行っていたとき、牛が首を伸ばしてきて引っ張ったため、一輪車が傾いたので姿勢を戻そうとして踏ん張ったところ転倒した。	通路の幅が狭く、不安定な一輪車で作業であったこと。	給餌作業中に頭を突き出す牛は決まっているので、その手前で少し餌を飼槽に落としてやっけてから通り過ぎるようにしている。	救急車で町内の病院に搬送された。	股関節脱臼	入院

18. 牛の事故

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
13	熊本	1	54	2009	9	18	6:30	牛舎	スコップで、敷きワラを浚え、マニュアルアスプレッダーに放り上げようとしたとき、横の柵から仔牛が顔をいきなり出したので、避けようとして、肩を痛めた。	いつもはおとなしい牛であり、そのような行動を取らなかった。仔牛のため、対処しきれなかった。	その後、マニュアルアスプレッダーに敷きワラを放り上げるのをやめ、フロントローダーで、さらえて、マニュアルアスプレッダーに入れるようにした。	最初、剥離骨折と言われ、別の医療機関で50肩と言われ、さらに別の医療機関で、肩の腱断裂で、1ヵ月後によく手術。	右肩腱断裂	入院
14	北海道	2	47	2012	7	21	8	パーラー	乳房炎に罹った牛の搾乳作業を行っていた。慎重に作業をしていたはずだったが、患部に触れてしまった瞬間、牛が痛がって左足を蹴り出し、被害者の胸部に当たった。	本来は3、4人がかりで足をロープで縛るが、当時は牧草収獲シーズンで人手が足りなかったため、一人作業となった。	パーラーに牛を追い込む係の従業員に近くに来てもらうようにしている。	車で病院に連れて行ってもらった。	胸部打撲	入院
15	宮崎	1	61	2012	7	26	10	牛舎	牛舎で天井部を這わせている細霧器を修理しようと、脚立を牛の横に立てようとして、牛が脚立を蹴り、脚立と鉄柵の間に手が挟まった。	薄暗い牛舎にアルミ製の脚立を持ち込んだとき、その光るものに牛が驚いて蹴られた。	牛は光るもの、音、匂いに敏感である。「脚立はくすんだ色に塗り替えるといい」と本人の弁。牛舎を明るくする工夫も必要。	自分で運転して近くの掛かり付け医にいった。レントゲンを撮った。骨折はなかった。10日間固定した。	左手第1指打撲、腱断裂	通院
16	宮崎	1	61	2012	8	31	7	牛舎	搾乳の際、胴締めをしようとして、牛の左後から胴締めを牛の背中に上げようとしたとき、蹴られ、胴締めと柵の間に手を挟んだ。	暗い牛舎で、胴締め慣れていない牛に嫌がる胴締めをしようとした。	牛舎が明るければ、作業内容も牛に伝わりやすいと考えられる。事故後は手袋をしている。	自分で車を右手の片手ハンドルで運転して個人のいつも行く医院にいった。約1ヵ月毎日通院、その後数ヵ月通院。	左第1指挫創	通院
17	北海道	2	51	2010	10	7	7	牛舎	蹴り防止用の胴締めを付けた牛の搾乳が終わったところ、その牛が突然、被害者の方に倒れかかってきて柵のパイプとの間に挟まれ、胴締めのハンドルが胸にぶつかった。	人に寄ってくる癖のある牛であったことから、身体を寄せようとしたが、後ろ足が拘束されていたためバランスを崩した可能性が考えられる。	蹴り癖のない牛には胴締めをしないことが望ましい。	救急車で病院に行き、肝臓が傷ついていることが確認されたため、即日入院した。	胸部圧迫、肝臓損傷	入院
18	熊本	1	75	2011	9	16	19:00	牛舎	乳房の傷のある牛に左側に片胴締めをして、搾乳しようとしたら、牛が違和感を感じたのか、左足を上げた時、牛がふらついて、倒れかかり、柱との間に挟まった。	特に、暴れ牛ではなく、おとなしい牛だったが、初乳以来久方ぶりの胴締めで、牛自身が嫌がった	問題のない牛に、これまでと異なる事をする時は、特に要注意	奥さんがそばにいて、リハビリ病院に、対応出来ないと言われ、転院、特に手術無く、固定して、次の病院に転院	左右肋骨多数骨折	入院
19	北海道	1	60	2012	10	21	9	牛舎	牛をスタンションにかけようとしたところ、牛がよろけて首がスタンションにぶつかった拍子に、スタンションを持っていた右手にスタンションのナットが引っかかって裂傷を負った。	スタンションの付け外し作業で把持する部分であるにもかかわらず、丸頭ネジを使うなどの配慮がなされていなかった。	負傷の可能性のある端面などの適切な処理が必要。	妻に車で病院に連れて行ってもらい、7針の縫合手術を受けた。	右手親指付け根の裂傷	通院
20	岩手県	1	63	2012	5	16	6	他家の畜舎前	競り市場に出す仔牛（300kg）をトラックに積み込む作業をしていた。左後方から押した際、牛がよろけて後退し、トラックの煽りの上に挙げていた右足に当たって膝の靭帯が伸びた。右足は左足は地面に付けていた。	煽りの表面には滑り止めが付いていて滑り難かった。右足が煽りの上で滑れば事故ならなかった。普段から手をかけているとちゃんとトラックに乗るが、他人の牛で、飼っている人が飼養のツボを心得ていなかったのだろう。	仔牛・馬には積み込みのための安全柵を作るなど、環境を整えること。	事故直後は、膝がぐらつかないように、膝周辺にタオルを巻いて、積み込み作業を続けた。膝がカクカクするので、自分で車を運転して整形外科医院を受診。ギブスは、自分で購入して装着した。	右膝靭帯損傷	通院

18. 牛の事故

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
21	富山県	1	66	2009	5	22	11	牛舎	搾乳をもうじき終わる頃になり、一頭の牛左によろけてきたので、避けようと腕を上げたところに柱があり、ぶつかり、バキッと音がしたが、まさか折れているとは思わなかった。	特に、暴れ牛ではないとの事であり、よろけを予知する事が困難	多数のよろけてぶつかりそうになった事案を、「常にある事」で済ませず、系統的に分類等して、傾向と対策を立てることができないものか。	数日、湿布したりして対処していたが、痛みが引かず、総合病院を受診、折れた骨でもそのままくっつくこともあると、20日間経過観察、結局良くならず手術、8日入院。	右尺骨骨折	入院
22	北海道	2	19	2012	7	24	9	牛舎	除ふん作業後に1頭がバドックから牛舎を通過して外に逃げだそうとしたので止めたが牛床に横臥したので、牛の右肩を殴ったところ、右手を痛めた。	脱走癖がある育成牛で、牛舎で姿を発見したときには「またか」とイライラしてしまった。	事故以降、自重して作業するよう心がけている。	車で病院へ連れて行ってもらった。	右手薬指打撲	通院

V. 特になし

19. 有毒動物

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	茨城	1	65	2012	8	23	8:30	栗畑	栗畑で草刈り中、前年に切り倒した栗の切り株近くに行ったとき、中に巣くっていたスズメバチが一斉に襲いかかってきた。以前にも襲われた経験があり、4m位飛び去って地面に伏せたが、臀部、大腿部を刺された。	栗の収穫時まで、一度も草を刈っておらず、かなりの草丈であり、切り株の様子がよく分からなかった。蜂の巣のある場所は、何となく分かるとのこと。草丈が高くてよく見えない状態であった。	・草刈りを頻回にすればいいのだが、少ない収入のため手間は余りかけたくなく、年1回のみで草刈りですませている。 ・以前にも刺された経験があり、黒色を蜂は好むので手袋は白をしていた。	以前、襲われた事があるので、救急車を要請したが、特に重篤にならず、痛み止めを塗るのみで治癒した。	右大腿部、臀部10数カ所、蜂刺傷	通院
2	富山県	1	59	2011	7	31	13:00	用水路	集落の一斉草刈りに出役中、小さい黄色いハチに刺された。(地元ではスカバチと称し、黄色スカバチとは異なるとのこと) 子供時代にスカバチにいつも刺され気にしていなかったが、10年前にこの小さい刺されショック使用上となり、すぐ周りの人に刺されたことを告げ、病院に行った。	以前に同様の蜂に刺され、ショック症状となった。	過去に蜂刺されにあつて、単に痛みだけであつた人でも、蜂が変わるとショック症状を呈することがあり、甘くみてはいけない。現在は、エピペンを常備している。	最初、暫く症状が出なかったもので、病院へ行くのをためらっていたが、仲間が、一大事と、すぐ車を手配し手くれた。着替えをしている間にショック症状に襲われ、とにかく病院にたどり着くことができた。	アナフラーキショック	入院
3	富山県	1	76	2011	8	22	14	田のそば	草刈り中、スズメ蜂に襲われ顔を刺された。時々刺されて、痛いだけなので特に気にしていなかったが、翌日腫れが腫れてきたので医者に行った。	スズメバチが巣をしやすい藪がある、と言われた。雨がからからず乾いているようなところ、とのこと。	特に、ショックは来なかったが、蜂の種類が異なるとショックが来ることがあるので、安易な対処は要注意。	翌日、腫がはれ目が開けて折れなくなったので医者に行き、注射をしてもらった。	右上眼瞼刺傷 蜂刺傷	通院
4	沖縄	1	28	2007	10	15	16	サトウキビの放棄畑	放棄畑をパワーショベルで整備中、降りて台風で飛ばされてきたビニールを手でどけたとき、潜んでいたハブに右手の親指と人差し指の間を咬まれた。入院3日間。	ハブは特別なことがない限り人を襲うことはないというが、突然ビニールを剥がされたので、驚いて襲ったのであろう。	ハブは追い込まれ逃げ場がないと襲う危険がある。収穫作業などでは一点に集まる危険もある。注意したい。	一緒にいた人が病院へ搬送。様子見ということで、30分～1時間観察。上腕がふくれあがってきた段階で点滴。後遺症なし。	右手ハブ咬傷	入院
5	富山県	2	69	2011	5	8	8	畑	草むらでヨモギを摘んでいて、マムシに咬まれた。	どこに潜んでいるか分からないが、この地区ではよくマムシを見かけるとのこと、それぞれが対処方法をよく知っている。	よくマムシの出るところで、地区全体がマムシに咬まれた場合の対処方法を熟知。	咬まれた山奥から、600mほどを自転車で必死に駆け下り、途中で、咬まれたところを吸い出ししながら、村の人が田植えをしているところに出て、すぐ病院に駆けつけた。	マムシ咬傷	入院

20. 重量物運搬

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	47	2009	4	1	14	農機庫	バークリーナの古いミッションを農機庫の入口付近に置いていたが、邪魔になるため、素手で持ち上げて運んでいたところ、バランスを崩して手が滑り、左足の上に落とした。	力には自信があったが、それがケガの元になってしまった。重量物の運搬には台車などを利用するのが望ましい。	作業時には必ず安全靴を履くようにしている。	救急車で町内の病院に搬送された。	左足親指第1関節のヒビ	入院
2	北海道	2	27	2012	8	6	11	選果所前	コンテナを軽トラックから荷台に載せて下ろしていたとき、足を滑らせて転倒、約60cm下のアスファルト舗装に転落した。	小雨が降っており、軽トラックの荷台が濡れて滑りやすい状態だった。	荷台でコンテナを下ろす係と、地上でコンテナを受け取る係とに役割分担して作業することが望ましい。	すぐに車で病院に連れて行ってもらった。	左肘挫傷	通院
3	上越	2	56	1008	10	17	9	作業所	作業所の2階にある米保管庫より30kgの米袋を出し、ホイストクレーンに乗せようとしたときに米の重みで振り回されて2.5m下に落下した。	落下防止の手すりが付いていたが、その時は手すりを出さなかった。立ちくらみをしたかもしれない。	重いものを2階に上げるのは危険であるので、米保管庫は1階に移した。2階は穀タンクにした。	近くにいた夫に大声をかけ呼び寄せ、電話で救急車を呼んだ。	右大腿骨骨折、右手首損傷	入院
4	上越	1	62	2010	10	17	12	作業所	軽油をポリタンクに移しているが、コックを閉め忘れたまま別のことをして作業所内が一面油だらけとなった。床にあった米袋をパレットに乗せようと走り出した時に足が滑って転び、胸の上に米袋が落下した。	コックを閉めていないのを家で思い出し、慌ててサンダルを履いて作業所に行った。	事故者はこれまでもコックの閉め忘れる問題を起こし、性格上直せないと思っている。自動的に止まるコックを開発できないか。	事故後痛みがあったが、農作業をした。咳をすると激痛となるので3日後に診察を受ける。	肋骨にヒビ	通院
5	上越	2	52	1011	9	24	14	作業所	刈り取った籾を運ぶのにフレコンを使っていた。フレコンをホイストクレーンで吊り上げ、乾燥機に入れる特にフレコンが落下して首とにぎ手がトラックの荷台に挟まれた。	フレコンを上吊り上げる紐の結び目の1本が切れた。フレコンは乾燥機においかかったため軽傷ですんだ。	籾を運ぶ時はフレコンを使わないこととした。メーカーではフレコンの紐は3年くらいで交換を指導している	コンバインに乗っている夫に携帯電話で連絡し怪我の状況を確認。病院に連絡をとって自分で車を運転し病院に行った。	頸椎打撲	通院
6	富山県	2	62	2008	9	4	10	畑	20kgの肥料を一輪車に積んで、畑で下ろす際、重くて横倒しになり、胸椎を骨折。	体型が華奢で、病院では典型的な骨粗鬆症と診断された。女性が持つには重すぎる。	今後は、風袋がもっと軽い重量のものを製造する必要があるのではないかと。	家にとにかく戻り、親戚の人に病院に連れて行ってもらった。コルセットをして1ヶ月入院	第12胸椎圧迫骨折	入院
7	長野	1	72	2011	8	16	5	野菜集荷所	収穫した加工トマトのコンテナを集荷所のパレットの上に5段積みしていた。反動をつけないと上がらないので、無理をして左肩を痛めた。	加工トマトの1コンテナは22.4kgと重い。5段積みは自分の背丈以上になるので苦しい。本人の身長も小さい。	集荷所でのパレットへの積み上げは機械などを使って行う。	しばらく我慢していたが良くなるので、自分で運転して病院を受診。予約して手術。	左肩腱板断裂	入院
8	長野	1	58	2012	5	14	10	水田の手	田植機に化成肥料を積み込みもうとして、運ぶ途中で土手に埋まっていた石につまづいた。	重い肥料を持っていたので、下が見えなかった。	土手の石を除いた。	近くの整骨院を受診	右足捻挫	通院

21. 高所転落

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	70	2010	12	7		牛舎	乾草置き場になっている牛舎の2階で作業をしていたところ、乾草を落とす穴から3m下の1階に落下し、腰を強打した。	体調が悪い上に、穴の周囲に乾草が散らばって、穴がわかりにくかった。	体調管理に気をつけている。	車で病院に行き、レントゲン撮影の後、入院した。	骨盤骨折	入院
2	富山県	1	70	2011	7	14	19:00	牛舎	夕方、牛舎の2Fからベール(干し草)25kgを落としていて、誤って高さ3m程からコンクリート床に転落。	晴れが続き、連日作業が集中し疲れていたと考えられる。2階に特別柵はなく、簡単に落ちる構造。	柵や、穴に落とし込むような構造にできないか。 ヘルメットの着用も必要。	墜落時誰もおらず、通りがかった隣人が発見。救急車で搬送。リハビリ特に無く、現在正座もできない。	脾臓損傷、左腎損傷、左血気胸、左多発肋骨骨折、頭蓋骨骨折、右大腿骨骨折	入院
3	北海道	1	19	2012	4			牛舎	牛床の上に掲げている牛名板を取り替えようとパーティションのパイプに左足を載せて作業し、作業が終わって降りるときに右足をくじいた。	着地動作を意識していなかったことが思いがけないケガに繋がったと考えられる。	事故以降、足元に気をつけて作業するよう心がけている。	自転車を漕いで病院へ向かった。	右足首捻挫	通院
4	宮崎	1	73	2010	9	不明	午後	堆肥舎	台風で飛ばされ骨組みだけになった堆肥舎の梁を取り除こうとして、バールを使っていたとき、反動で2.1m下に宙返りをするように転落。両方の踵骨を骨折した。	梁は重く、簡単には抜けないだろうと思いきりバールに力を加えた。足場が11cmしかなく不安定であった。	高所作業はいつも落下の危険性があることを前提にした対策を立てる必要がある。ヘルメットの着用も必須。	土曜日で病院で対応が出来ず、月曜日に受診、即入院。重りをつけて踵の骨が付くように治療。70日間入院。現在は違和感はない。	両踵骨骨折	入院
5	岩手県	1	61	2010	9	4		前庭	自宅敷地内にある高さ2.7mのサイロ上で作業をした後、3機のサイロ上を渡り歩いて降りようとした途中で転落し、サイロから2.4m離れた地面に右足で着地して受け身をするように1回転した。自分では記憶がないが、頭部を打った可能性がある。	各サイロには、昇降はしごが付いているが、サイロ間が狭いのと面倒なので、上を伝って端のサイロから上り下りしている。サイロ上に手すりは付いていない。サイロの蓋に付いている支柱はぐらぐらして不安定である。	サイロ上に手すりを付けるか、安定した支え棒を付ける必要がある。	翌朝、妻の運転で受診。すぐに手術し40日間入院。退院後1週間位で、左片麻痺、意識混濁、動揺性歩行が出て受診。慢性硬膜下血腫の診断で穿孔洗浄術施行。術後3日で管を抜いて自力歩行となる。	右大腿骨頸部骨折、慢性硬膜下血腫	入院
6	宮崎	1	61	2012	9	10		畑	ロールベールの3段目の乗り、隣にある柿の木に「カラスの脅し」をつけた。その後降りようとして隣のロールに移るとき落ち2段目のロールに肩をぶつけ、さらに1回転して下に転落、左足がバキバキと音がした。娘さんが手伝いに来てくれ、なんとか乗り切った。	ロールベールの間隔が思ったより広く、飛び越えられなかった。	はしごなどを使い、しっかり固定して上り下りすればよかった。	しばらくは立ち上がれなかった。そこにあった竹を杖棒にして、家に帰り、自車で、かかりつけ医に行った。湿布をもらって、2週間安静にしていた。	左大腿筋断裂	入院

22. 歩行中の事故

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	千葉	2	57	2007	8	4	11	畦	前日、バーチャルで畦草が刈ってあった。溜め升の部分だけコンクリートがあり約30cmの草丈の草が刈り残してあった。当日、水回りをしている、当然蓋があると思っていたがでで動いたらしく、落とし穴にはまったように脚を入れた。	・前日の作業者がコンクリートの蓋が動いたのに、そのまま放置していた。	・見えない所、今回の場合草で蓋の状態が見えなかった所、の確認が必要。 (草むらに何が潜んでいるか分からない)	自転車まで歩いて行って、受診。脚の靭帯損傷とのことで1ヵ月間石膏で固定。入院が必要であったが、忙しい時期にかかっていたので、他人に送迎してもらって、仕事を続けた。	左脚副側靭帯損傷・断裂	通院
2	土越	2	34	2011	5	30	10	畦	ほ場の出入り口と思い足を出した時に用水路であり、用水路に足を取られて転倒した。	ほ場の出いれ口、用水路ともに草が覆っていて用水路が見えなかった。	出来るだけ早く草を刈る。ほ場の出いれ口か用水路か確認するようになった	母に携帯電話をして、車で迎えに来てもらい診療所で診察を受け、骨折しているため病院に転院した。	左足小指骨折	通院
3	富山県	1	59	2008	4	27	11	畦	草刈りを終えて、側溝のコンクリートを歩いていて側溝に足を落としアキレス腱断裂。	側溝と畦との間が、風化により7cm位有り、また畦の天井部分も斜めに傾斜しており歩くのに不安定。	息子に病院へ連れて行ってもらい、レントゲンを撮ってもらい、日曜であったので、再度翌日受診。	息子に病院へ連れて行ってもらい、レントゲンを撮ってもらい、日曜であったので、再度翌日受診、約2ヶ月入院。	右足アキレス腱断裂	入院
4	富山県	1	78	2009	7	10	7	宅地後の畑	畑の作物を見に行き、1.5m位の下り坂えを下りる時、足を滑らせて足首を捻挫骨折。	40度の傾斜で1.8mあるところを特に階段も作らず、土を鉄でひっかいた段のみしかなく、雨が降ると滑りやすい状態であった。	事故後、コンクリートでしっかりした階段を作った。	数日間様子を見ていたが、月曜日に総合病院受診、骨折が確認され、手術。	左足関節外果骨折	入院
5	長野	2	70	2012	1	24	16	畑	選定作業を終え、帰ろうとして切っていた桃の古株に左足でつまずき、転倒した。	古株が草に埋もれて見えなかった。剪定の見学に来た友人が待っていると思い焦ってしまった。	古株のあるところにマークを付ける。考え事をしていると足が上らないことを自覚する。	友人が車で病院へ連れて行ってくれた。5時過ぎだったが担当が整形外科医で助かった。	左足根骨骨折・左足関節捻挫	通院
6	長野	2	82	2011	10	16	15	畑	畑の土手の草を鎌で刈ろうとして道路から畑に入ろうとしたが、40cmのU字溝を飛び越えられず、転倒した。	U字溝を飛び越えるとき、このくらいなら大丈夫という過信があった。	U字溝を飛び越えず、馬入れまで行けば良かった。足を乗せる場所を考えながら作業する。	作業を中断し、自分で車を運転して病院へ向かった。	左肋骨骨折(2箇所)	通院
7	長野	2	78	2012	2	24	9	畑横のU字溝	菊育苗ハウスで水が必要になり、横にある深いU字溝の水を汲もうとして降りていく途中で転倒し、腰を猛打した。	滑りやすい靴を履いていた。水の蓄えがなかった。	現在はハウスの中に、いろいろなタンクに水を蓄え、凍らないように被覆している。冬は滑らない靴を履く。	しばらく動けなかった。近くに人がみつけ救急車を呼んでくれた。入院4日目に手術。	右大腿骨頸部骨折	入院・通

23. 特になし・その他

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	富山県	1	62	2012	9	15	9	田	宅地裏の約15㎡の稲を鎌で刈っていて、稲の葉先が目に入った	小さな田んぼと思い、休まず一気に刈り上げようとし、受傷時は稲束を持つ手がふらついており、稲が乱れ、目に入った	稲刈りの後束ねる仕事もあり、交互に作業を入れ替えると、同じ姿勢での作業継続より負担が少なかったと考えられる。	そのうち良くなると思っていたが、1ヶ月頃して、朝睨がくっついて離れない状態となり、眼科受診、「植物による傷は、一度治ったと思っても、睨で引き上げられ傷口が再び広がる」と言われた。	角膜炎症	通院
2	富山県	1	64	2012	5	31	午前中	畦	畦のモグラの穴を左足を振り子のようにして、叩きつけていて、側面の靭帯を痛める	体力にものを言わせて、水田の畦の水漏れを防ぐため、足を力任せに畦にたたき付けていた。	道具を使うなどの工夫が必要。	受傷時、大丈夫と思い1日放置、痛みが増したので、翌日受診、靭帯切れており、1ヶ月固定。	左足膝側面の靭帯断裂	通院
3	滋賀県	1	36	2008	10		18	軽トラクの荷台	農薬（アドマイヤーフロラブル）原液を散布器のタンクに入れたとき、暗かったので、タンクの中を覗き込んだ。農薬が水面で撥ねて、右目に入った。	暗いところで農薬調合を行った。ゴーグルをしなかった。	ゴーグルをする。	すぐ水で洗浄したが、その日はそのまま就寝。翌日、自身で自動車を運転し、近くの総合病院に行った。	右眼の炎症。一週間後に、治癒。視力も回復。	通院

24. 内因性

NO	地区名	性別	年齢	年	月	日	時	発生場所	事故状況	主な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	茨城	1	70	2012	5	8	19:30	(家)	親戚の分の田植えを含め大変忙しかった。夕方田植え終了後、めまい、空はきけをもよほした、がまんできる状態ではあったが、2年前にドックで腹部動脈瘤が発見されており、もしもを考え、救急車を要請	連日、田植え作業が続いており、休む間もなく作業をしていたのが原因か？	・特に直接的原因はないが、作業が集中する時期に、作業の分散等必要。	腹部動脈瘤があるのが分かっているのに、念のため救急を要請、特に異常所見はなく、ICUセンターの対応も丁寧であった。	軽い脳梗塞疑い	通院
2	上越	1	67	2012	7	11	11	畑	長野県に梅をもぎに行っていた。日照りの中、脚立に乗って作業をしていた。実を採り終わり、家に入ったが具合が悪く3時頃まで寝て休息を取った。	7月に入り4時30分からトマトの収穫、午前午後とも草刈作業など忙しい作業が続く。2日前より急に気温が上がる。日中帽子をかぶらない。水分補給に気を使わない。	午前中暑くなったら作業を止め、午後3時頃まで作業に出ない。帽子をかぶる。水と塩分、等分を補給する。	翌日になったもからだのだるさが続いていたので、風邪ではないかと病院に行ったところ熱中症と診断された。	熱中症	通院
3	長野	1	86	2012	7	17	14	自宅前の畑	キャビン付きのトラクターで畑を耕耘し、終わったので休もうとしたのか、そのまま亡くなっていた。エンジンは切られ、ラジオはついてた。	暑かった。急激な温度の変化があった。午前中相談に来た人の対応や午後3時からの相撲をみたいと焦っていた。	気温が急に上昇する時期は熱中症に気をつけたい。	近くの人が気づき救急車を呼んだ。検死。	虚血性心疾患	死亡